



③

①

降雨等に対する養生方法

※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。

〔3.1.3〕

②

既存防水の処理

既存保護層の撤去

○行う（範囲 ※ 図示）

〔3.1.4〕〔3.2.3、4、6〕

・行わない

既存防水層の撤去

・行う（範囲 ※ 図示）

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

（※ M4AS ※ M4ASI ※ M4C ※ M4D1 ※ L4X）

③

既存下地の処置

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示

〔3.2.6〕

POS工法及びPOS工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置

※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (a)①～③による

・設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

4

アスファルト防水

屋根保護防水

防水層の種類

| 工法    | 種別                      | 施工箇所 | 断熱材  | 絶縁用シート   | 立上り部の保護                                |
|-------|-------------------------|------|--|--|--|
| ・P2A  | ・A-1<br>※A-2<br>・A-3    |      |  | ※ポリエチレンフィルム<br>厚さ<br>0.15mm以上<br>又はフラット<br>ヤーンクロス<br>70g/㎡程度 | ・乾式保護材<br>・コンクリート<br>押え<br>※JIS R 1250 |
| ・P1B  | ・B-1<br>※B-2            |      |  |  |  |
| ・P2A1 | ・A1-1<br>※A1-2<br>・A1-3 |      | （材質）<br>JISA9521に基づく押出法<br>ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）<br>（厚さ）(mm)<br>※25・50 | ※フラット<br>ヤーンクロス<br>70g/㎡程度                                   |  |
| ・P1B1 | ・B1-1<br>※B1-2          |      |  |  |  |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

※ 水下 80mm以上

床タイル張り

※ 水下 60mm以上

乾式保護材

商業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

（品質・性能）

| 分類・規格                          |   | ・商業系パネル<br>I類   | ・金属複合板 |
|--------------------------------|---|---|--------|
| 寸法（mm）                         | 厚さ（mm）  |   |        |
|                                | 幅（mm）   |   |        |
| 寸法の許容差                         | 厚さ：+10%、-5%、幅：±1%   |   |        |
| 出荷時の含水率                        | 出荷時に於いて10%以下  |   |        |
| 曲げ強さ・曲げモーメント（N・cm）             | 標準時<br>550以上<br>凍結融解完了時<br>400以上（300）                                   | 300以上<br>250以上（300）   |        |
| （スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント） | （試験サイクル数）   |   |        |
| 吸水率（%）                         | 20以下  | 1以下   |        |
| 吸水による長さ変化率（%）                  | 0.07以下  | 0.01以下  |        |
| 難燃性                            | 不燃  | 表面材は不燃  |        |
| 耐凍結融解性能                        | 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外觀上の異常がないこと。<br>（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。） | 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外觀上の異常がないこと。<br>（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。） |        |
| 耐衝撃性能                          | 質量500g（商業系パネルI類は1,000g）のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。    | 質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。        |        |
| 剛性（E×I）                        | （スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性）                             | 80,000N・cm2以上   |        |

（試験方法）

（1）寸法の測定方法

（厚さ）供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。

（幅）供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所のみ寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。

（2）曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全面に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。（商業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。

（3）吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。

（4）難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

（5）吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40mm×長さ160mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試験）」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さ測定し、それを基準（L1）とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ（L2）を測る。吸水による長さ変化率（ΔL）は、次式によって求める。  
$$\Delta L = \frac{L2 - L1}{L1} \times 100$$
$$\Delta L$$
：吸水による長さ変化率（%）  
$$L1$$
：乾燥時の標線間の長さ（mm）  
$$L2$$
：吸水時の標線間の長さ（mm）

（6）耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「商業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（商業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）凍結融解操作の試験条件は、試験片の切斷小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

（7）耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対応単純支持方法による。試験体の大きさは、4号（長さ400mm、幅300mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号（W1-1000）、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

| 工法                      | 種別                           | 施工箇所 | 断熱材   | 仕上塗料 |         | 高日射放射率の防水 | 備考   |
|-------------------------|------------------------------|------|---|------|---------|-----------|--|
|                         |                              |      |   | 種類   | 使用量     |           |  |
| ・M4C                    | ・C-1<br>※C-2<br>・C-3<br>・C-4 |      |   | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する     |  |
| ・M3D<br>・POD            | ・D-1<br>※D-2                 |      |   | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する     | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない |
| ・POD1<br>・M3D1<br>・M4D1 | ・D1-1<br>※D1-2               |      | JIS A 9521（建築用断熱材）に基づく発泡プラスチック断熱材（種類）<br>※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号<br>（厚さ）(mm)<br>※25・50 | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する     | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

脱気装置の種類

※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定

脱気装置の設置数量

※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定

（個）

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※ 図示

屋内防水

| 工法           | 種別           | 施工場所 |
|--------------|--------------|------|
| ・P1E<br>・P2E | ・E-1<br>※E-2 |      |

E-1の場合で工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位）保護層・設ける（※図示）

・設けない

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

・図示

屋根露出防水

防水層の種類

〔3.4.2、3〕

| 工法                         | 種別                                   | 施工箇所 | 断熱材   | 仕上塗料 | 高日射放射率の防水 | 備考  |
|----------------------------|--------------------------------------|------|---|------|-----------|---|
| ・M4S                       | ・AS-T1<br>・AS-T2<br>・AS-J2           |      |   | ・    | ※製造所の仕様   | ・適用する   |
| ・M3AS<br>・M4AS<br>・POAS    | ・AS-T3<br>・AS-T4<br>・AS-J1<br>・AS-J3 |      |   | ・    | ※製造所の仕様   | ・適用する<br>脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない                         |
| ・M3ASI<br>・M4ASI<br>・POASI | ・ASI-T1<br>・ASI-J1                   |      | JIS A 9521（建築用断熱材）に基づく発泡プラスチック断熱材（種類）<br>※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号<br>（厚さ）<br>※25mm<br>・50mm | ・    | ※製造所の仕様   | ・適用する<br>脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない<br>防湿層<br>・設ける<br>・設けない |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

脱気装置の種類

※ 改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定

脱気装置の設置数量

※ 改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定

（個）

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水型シート

・設置する

・設置しない

〔3.5.2～4〕〔表3.5.1～3〕

防水層の種類

| 工法                               | 種別               | 施工箇所 | 断熱材  | 仕上塗料 |         | 高日射放射率防水 | 備考   |
|----------------------------------|------------------|------|--|------|---------|----------|--|
|                                  |                  |      |  | 種類   | 使用量     |          |  |
| ・POS<br>・S4S                     | ・S-F1            |      |  | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない |
|                                  | ・S-F2<br>・S-M1   |      |  | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    |  |
|                                  | ・S-M2            |      |  | ・    |         | ・適用する    |  |
| ・S3S                             | ・S-F1            |      |  | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない                            |
|                                  | ・S-F2<br>・S-M1   |      |  | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    |  |
| ・M4S                             | ・S-M1            |      |  | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない                            |
|                                  | ・S-M2            |      |  | ・    |         | ・適用する    |  |
| ・POS1<br>・S3S1<br>・S4S1<br>・M4S1 | ・SI-F1           |      | 改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(b)による（種類）<br>※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号<br>（厚さ）(mm)<br>※25・50 | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    | 脱気装置<br>・設ける<br>・設けない<br>改修用ドレン<br>・設ける<br>・設けない |
|                                  | ・SI-F2<br>・SI-M1 |      | 改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(a)による（種類）<br>※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号<br>（厚さ）(mm)<br>※25・50 | ・    | ※製造所の仕様 | ・適用する    |  |
|                                  | ・SI-M2           |      |  | ・    |         | ・適用する    |  |

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

※ 非歩行用

・軽歩行用

S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置

※ 設置しない

・設置する

S1-M2の絶縁用シート材の種類

※ 発泡ポリエチレンシート

S-M2及びS1-M2の立上り部の工法

※ 接着工法（立上り面シートの厚さ ※ 1.5mm）

・機械的固定工法

屋内防水

防水層の種類

| 種別    | 施工箇所 | 平場のモルタル塗り |                   | 立上り部の保護モルタルの塗厚 |
|-------|------|-----------|-------------------|----------------|
|       |      | 塗厚        | 工法                |                |
| ・S-C1 | ・    | ・         | ・床塗り<br>・下地モルタル塗り | ※ 7mm以下        |

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ（mm以上）

固定金具の材質及び寸法形状

※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量

接着工法の場合の脱気装置の種類

※ ルーフィングシートの製造所の仕様

接着工法の場合の脱気装置の設置数量

※ ルーフィングシートの製造所の仕様

（個）

プレキャストコンクリート部材下地の目地処理（接着工法の場合）

・行う（※図示）

・行わない

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）

・行う（※図示）

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

1章 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑦

⑧

⑨

10

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

㏀

㏁

㏂

㏃

㏄

㏅

㏆

㏇

㏈

㏉

㏊

㏋

㏌

㏍

㏎

㏏

㏐

㏑

㏒

㏓

㏔

㏕

㏖

㏗

㏘

㏙

㏚

㏛

㏜

㏝

㏞

㏟

㏠

㏡

㏢

㏣

㏤

㏥

㏦

㏧

㏨

㏩

㏪

㏫

㏬

㏭

㏮

㏯

㏰

㏱

㏲

㏳

㏴

㏵

㏶

㏷

㏸

㏹

㏺

㏻

㏼

㏽

㏾

㏿

㐀

㐁

㐂

㐃

㐄

㐅

㐆

㐇

㐈

㐉

㐊

㐋

㐌

㐍

㐎

㐏

㐐

㐑

㐒

㐓

㐔

㐕

㐖

㐗

㐘

㐙

㐚

㐛

㐜

㐝

㐞

㐟

㐠

㐡

㐢

㐣

㐤

㐥

㐦

㐧

㐨

㐩

㐪

㐫

㐬

㐭

㐮

㐯

㐰

㐱

㐲

㐳

㐴

㐵

㐶

㐷

㐸

㐹

㐺

㐻

㐼

㐽

㐾

㐿

㑀

㑁

㑂

㑃

㑄

㑅

㑆

㑇

㑈

㑉

㑊

㑋

㑌

㑍

㑎

㑏

㑐

㑑

㑒

㑓

㑔

㑕

㑖

㑗

㑘

㑙

㑚

㑛

㑜

㑝

㑞

㑟

㑠

㑡

㑢

㑣

㑤

㑥

㑦

㑧

㑨

㑩

㑪

㑫

㑬

㑭

㑮

㑯

㑰

㑱

㑲

㑳

㑴

㑵

㑶

㑷

㑸

㑹

㑺

㑻

㑼

㑽

㑾

㑿

㒀

㒁

㒂

㒃

㒄

㒅

㒆

㒇

㒈

㒉

㒊

㒋

㒌

㒍

㒎

㒏

㒐

㒑

㒒

㒓

㒔

㒕

㒖

㒗

㒘

㒙

㒚

㒛

㒜

㒝

㒞

㒟

㒠

㒡

㒢

㒣

㒤

㒥

㒦

㒧

㒨

㒩

㒪

㒫

㒬

㒭

㒮

㒯

㒰

㒱

㒲

㒳

㒴

㒵

㒶

㒷

㒸

㒹

㒺

㒻

㒼

㒽

㒾

㒿

㓀

㓁

㓂

㓃

㓄

㓅

㓆

㓇

㓈

㓉

㓊

㓋

㓌

㓍

㓎

㓏

㓐

㓑

㓒

㓓

㓔

㓕

㓖

㓗

㓘

㓙

㓚

㓛

㓜

㓝

㓞

㓟

㓠

㓡

㓢

㓣

㓤

㓥

㓦

㓧

㓨

㓩

㓪

㓫

㓬

㓭

㓮

㓯

㓰

㓱

㓲

㓳

㓴

㓵

㓶

㓷

㓸

㓹

㓺

㓻

㓼

㓽

㓾

㓿

㔀

㔁

㔂

㔃

㔄

㔅

㔆

㔇

㔈

㔉

㔊

㔋

㔌

㔍

㔎

㔏

㔐

㔑

㔒

㔓

㔔

㔕

㔖

㔗

㔘

㔙

㔚

㔛

㔜

㔝

㔞

㔟

㔠

㔡

㔢

㔣

㔤

㔥

㔦

㔧

㔨

㔩

㔪

㔫

㔬

㔭

㔮

㔯

㔰

㔱

㔲

㔳

㔴

㔵

㔶

㔷

㔸

㔹

㔺

㔻

㔼

㔽

㔾

㔿

㕀

㕁

㕂

㕃

㕄

㕅

㕆

㕇

㕈

㕉

㕊

㕋

㕌

㕍

㕎

㕏

㕐

㕑

㕒

㕓

㕔

㕕

㕖

㕗

㕘

㕙

㕚

㕛

㕜

㕝

㕞

㕟

㕠

㕡

㕢

㕣

㕤

㕥

㕦

㕧

㕨

㕩

㕪

㕫

㕬

㕭

㕮

㕯

㕰

㕱

㕲

㕳

㕴

㕵

㕶

㕷

㕸

㕹

㕺

㕻

㕼

㕽

㕾

㕿

㖀

㖁

㖂

㖃

㖄

㖅

㖆

㖇

㖈

㖉

㖊

㖋

㖌

㖍

㖎

㖏

㖐

㖑

㖒

㖓

㖔

㖕

㖖

㖗

㖘

㖙

㖚

㖛

㖜

㖝

㖞

㖟

㖠

㖡

㖢

㖣

㖤

㖥

㖦

㖧

㖨

㖩

㖪

㖫

㖬

㖭

㖮

㖯

㖰

㖱

㖲

㖳

㖴

㖵

㖶

㖷

㖸

㖹

㖺

㖻

㖼

㖽

㖾

㖿

㗀

㗁

㗂

㗃

㗄

㗅

㗆

㗇

㗈

㗉

㗊

㗋

㗌

㗍

㗎

㗏

㗐

㗑

㗒

㗓

㗔

㗕

㗖

㗗

㗘

㗙

㗚

㗛

㗜

㗝

㗞

㗟

㗠

㗡

㗢

㗣

㗤

㗥

㗦

㗧

㗨

㗩

㗪

㗫

㗬

㗭

㗮

㗯

㗰

㗱

㗲

㗳

㗴

㗵

㗶

㗷

㗸

㗹

㗺

㗻

㗼

㗽

㗾

㗿

㘀

㘁

㘂

㘃

㘄

㘅

㘆

㘇

㘈

㘉

㘊

㘋

㘌

㘍

㘎

㘏

㘐

㘑

㘒

㘓

㘔

㘕

㘖

㘗

㘘

㘙

㘚

㘛

㘜

㘝

㘞

㘟

㘠

㘡

㘢

㘣

㘤

㘥

㘦

㘧

㘨

㘩

㘪

㘫

㘬

㘭

㘮

㘯

㘰

㘱

㘲

㘳

㘴

㘵

㘶

㘷

㘸

㘹

㘺

㘻

㘼

㘽

㘾

㘿

㙀

㙁

㙂

㙃

㙄

㙅

㙆

㙇

㙈

㙉

㙊

㙋

㙌

㙍

㙎

㙏

㙐

㙑

㙒

㙓

㙔

㙕

㙖

㙗

㙘

㙙

㙚

㙛

㙜

㙝

㙞

㙟

㙠

㙡

㙢

㙣

㙤

㙥

㙦

㙧




㙨

㙩


㙪

㙫

㙬

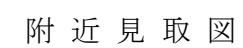
|   |  |                          |                |                     |                                 |  |  |                                |
|---|--|--------------------------|----------------|---------------------|---------------------------------|--|--|--------------------------------|
|  一級建築士事務所 広島県知事 登録 第20(1)2704号<br><b>佐伯建築設計事務所</b><br>〒728-0016 広島県三次市四拾貫町9-8<br>TEL(0824)64-2844 FAX(0824)64-3266 |  | 一級建築士 第223265号<br>佐伯 晃志郎 | ・構造設計<br>・設備設計 | 工事名<br>三次小学校プール改修工事 | 図面名称<br>建築工事特記仕様書(3)<br>Noscale | 検 印<br> | 製 図<br> | 作成年月日<br>R6.3.<br>図面番号<br>T-03 |
|---|--|--------------------------|----------------|---------------------|---------------------------------|--|--|--------------------------------|


|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|---|---|--------------------|---|---|-----------------------|-------------------------------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|
| 5<br>建具<br>改修<br>工事   | 1   | 改修工法               | [ 5. 1. 3 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 建具の種類   | かぶせ工法   | 撤去工法                  | 適用箇所                                |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・アルミ製建具   | ・   | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・樹脂製建具  | ・   | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・鋼製建具   | ・ 外部  | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ 内部  | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・鋼製軽量建具   | ・   | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・ステンレス製建具   | ・   | ・                     | ※ 建具表による                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 新規に建具を設ける場合   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 壁部分の開口の開け方 ※ 図示   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 2   | 防火戸   | 防火戸                | [ 5. 1. 4 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・適用する 指定箇所 ( ※ 建具表による )   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ※通動させる 適用箇所 ( ※ 建具表による )  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・通動させない   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 建具見本の製作   | ・ 行う ( 建具符号 : )                                   | ・ 行わない                | [ 5. 1. 5 ]                         |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 特殊な建具の仮組  | ・ 行う ( 建具符号 : )                                   | ・ 行わない                |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 3   | 見本の製作等  | 見本の製作等             | [ 5. 1. 5 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 建具見本の製作   | ・ 行う ( 建具符号 : )                                   | ・ 行わない                |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 特殊な建具の仮組  | ・ 行う ( 建具符号 : )                                   | ・ 行わない                |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 4   | 防犯建物部品  | 防犯建物部品             | [ 5. 1. 7 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・適用する 適用箇所 ( ※ 建具表による )   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 5   | アルミニウム製建具   | アルミニウム製建具          | [ 5. 2. 2 ~ 5 ] [ 表 5. 2. 2 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能値等  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・耐風圧性の等級 ( ) 、気密性の等級 ( ) 、水密性の等級 ( )  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ※ 改修標準仕様書表5.2.1による種別  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 外部に面する建具の種類   | ・ A 種 ( 建具符号 : ・ 全て )                             | ・ 建具表による              | ・                                   |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ B 種 ( 建具符号 : ・ 全て )                             | ・ 建具表による              | ・                                   |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ C 種 ( 建具符号 : ・ 全て )                             | ・ 建具表による              | ・                                   |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 防音ドア、防音サッシ  | 遮音性の等級 ( )  | ( 建具符号 : ・ 建具表による )   |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 断熱ドア、断熱サッシ  | 断熱性の等級 ( )  | ( 建具符号 : ・ 建具表による )   |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 6   | 網戸等   | 網戸等                | [ 5. 2. 3 ] [ 5. 3. 3 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 種類  | 材質  | 線径                    | 網目                                  |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・ 防虫網   | ※ 合成樹脂製<br>・ ガラス繊維入り合成樹脂製<br>・ ステンレス ( SUS316 ) 製 | ※ 0.25mm 以上           | ※ 16 ~ 18 メッシュ                      |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・ 防鳥網   | ステンレス ( SUS304 ) 線材                               | 1.5mm                 | 網目寸法15mm                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | [ 5. 2. 2 ] [ 5. 3. 2 ~ 5 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能値等  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ・耐風圧性の等級 ( ) 、気密性の等級 ( ) 、水密性の等級 ( )  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ※ 改修標準仕様書表5.3.1による種別  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 外部に面する建具  | ・ A 種 ( 建具符号 : ・ 全て )                             | ・ 建具表による              | ・                                   |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ B 種 ( 建具符号 : ・ 全て )                             | ・ 建具表による              | ・                                   |        |               |        |               |        |
|   | ・ C 種 ( 建具符号 : ・ 全て )   | ・ 建具表による           | ・   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級   | ・ T-1   | ・ T-2              |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ( 建具符号 : ・ 建具表による )   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級   | ・ H-4   | ・ H-5              | ・ H-6   | ・ H-7   | ・ H-8                 |                                     |        |               |        |               |        |
| ( 建具符号 : ・ 建具表による )   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 外部に面する建具の日射熱取得性の等級  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 形状及び仕上げ   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 枠の見込み寸法   | ※ 建具表による  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 表面色   | ※標準色  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 取付工法  | 水切り板、ぜん板 ※ 図示   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ガラス   | ※ 複層ガラス   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 8   | 鋼製建具  | 鋼製建具               | [ 5. 2. 2 ] [ 5. 4. 2 ~ 4 ] [ 表 5. 4. 2 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による )  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 簡易気密型ドアセット  | 気密性の等級  | ・ A-3                 |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | 水密性の等級  | ・ W-1                 |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 外部に面する面する建具の耐風圧性  | ・ S-4   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ S-5   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   | ・ S-6   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 防音ドア、防音サッシ  | 遮音性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 断熱ドア、断熱サッシ  | 断熱性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐震性能  | 面内変形追従性の等級 ( )                                    |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 耐震性能  | 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ステンレス鋼板の材料  | ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| くつずりの仕上げ  | ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 形状及び仕上げ   | 鋼板厚の厚さ  | ※ 改修標準仕様書表5.4.2による |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   | 使用箇所 ( )  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 標準型鋼製建具の形状及び寸法  | ※ 建具表による  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 9   | 鋼製軽量建具  | 鋼製軽量建具             | 性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) [ 5. 2. 2 ] [ 5. 5. 2 ~ 4 ]  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 簡易気密型ドアセット  | 遮音性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 防音ドア、防音サッシ  | 遮音性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 断熱ドア、断熱サッシ  | 断熱性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐震性能  | 面内変形追従性の等級 ( )                                    |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐震性能  | 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による                            |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 鋼板の材料   | ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板             |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ステンレス鋼板の材料  | ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1                      |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 形状及び仕上げ   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 鋼板厚の厚さ  | ※ 改修標準仕様書表5.5.1による                                |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 使用箇所 ( )  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 召合せ、縦小口包み材の材質   | ※ 鋼板  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 標準型鋼製建具の形状及び寸法  | ※ 建具表による  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 10  | ステンレス製建具  | ステンレス製建具           | 性能値等 ( 建具符号 : ・ 建具表による ) [ 5. 2. 2 ] [ 5. 6. 2 ~ 5 ]  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 簡易気密型ドアセット  | 遮音性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 防音ドア、防音サッシ  | 遮音性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 断熱ドア、断熱サッシ  | 断熱性の等級 ( )  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐震性能  | 面内変形追従性の等級 ( )                                    |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐震性能  | 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による                            |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ステンレス鋼板の材料  | ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1                      |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | くつずりの仕上げ  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ステンレス鋼板を用いる場合   | ※ HL以上  |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 形状及び仕上げ   | 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ ・                              |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 工法  | ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ( ・ a 角 ・ b 角 ・ c 角 )   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 11  | 建具用金物   | 建具用金物              | 金物の種類及び見え掛り部の材質等  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ※ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.2による   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.3による   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表5.8.4による   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表5.8.5による  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 12  | 鍵   | 鍵                  | 錠前類   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 【シリンダ錠錠及びシリンダ本締まり錠】   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (品質)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | デッドボルトの寸出法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (性能)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ＜使用頻度による性能＞   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 1) (シリンダ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。(シリンダ本締まり錠のみ) シリンダ単体の施錠解錠繰り返し試験の評価は、シリンダ だけの回転トルクが10N・cm以下とする。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとす)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ＜外力に対する性能＞  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸出法は8mm以上であること。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 5) (シリンダ本締り錠はグレード3以上の形込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストロークは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ＜使用頻度の質量に対する性能 (シリンダ錠のみ) ＞  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 3) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 4) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ＜鍵＞   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般—第1部：試験方法) による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 【レバーハンドル】   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (性能)  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ＜ねじり強度＞   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がないこと。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ＜垂直荷重強度＞  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がないこと。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般—第1部：試験方法) による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 13  | 自動ドア開閉装置  | 自動ドア開閉装置           | クローザー類 (品質・性能)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 区分  | ① ドアクローザー   | ② ヒンジクローザー            | ③ フロアヒンジ                            |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能試験項目  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 区分  | Grade1  | 番手                    | 閉じモーメント (N・m)                       | 効率 (%) | 閉じモーメント (N・m) | 効率 (%) | 閉じモーメント (N・m) | 効率 (%) |
|   |   |                    | 1   | 5以上   | 30以上                  | 5以上                                 | 30以上   | 5以上           | 30以上   |               |        |
|   |   |                    | 2   | 10以上  | 30以上                  | 10以上                                | 30以上   | 10以上          | 30以上   |               |        |
|   |   |                    | 3   | 15以上  | 35以上                  | 15以上                                | 35以上   | 15以上          | 35以上   |               |        |
|   |   |                    | 4   | 25以上  | 40以上                  | 25以上                                | 40以上   | 25以上          | 40以上   |               |        |
|   |   |                    | 5   | 35以上  | 45以上                  | 35以上                                | 45以上   | 35以上          | 45以上   |               |        |
|   |   |                    | 6   | 45以上  | 45以上                  | 45以上                                | 45以上   | 45以上          | 45以上   |               |        |
| 閉じ速度 (秒)  | 常温 (5～35℃) 無風状態において、開閉 (70°) から全開 (0°) までの時間を5～8秒に調整できること。  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 温度依存性 (℃)   | 軽微油の流動点は、JIS K 2269 (原油及び石油製品の流動点並びに石油製品盛り点試験方法) により測定し、-15℃以下であること。  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ストローク入力   | 60N・m以下   |                    | 100N・m以下  |   | 100N・m以下              |                                     |        |               |        |               |        |
| 但し、コンシールド型は   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 200N・m以下  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ストローク解除力  | 8N・m以上  |                    | 3N・m以上  |   | 10N・m以上               |                                     |        |               |        |               |        |
| バックチェック性能 (秒)   | ドア開閉方向に荷重60N/m2を開閉50° から負荷する。バックチェック開始角度 (70～85°) から更に20° まで開閉の時間は0.8秒以上としていること。                                |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ディレードアクション性能 (秒)  | 開閉90° の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 戸の閉鎖位置 (中心吊り込み角 自由に適用)  | —   |                    | —   |   | ±3mm以内                |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰返し開閉後の閉じモーメント (N・m)  | Grade2  |                    | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。   |   | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰返し開閉後の効率 (%)   | Grade2  |                    | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。   |   | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰返し開閉後の閉じ速度 (秒)   | Grade2  |                    | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。   |   | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰返し開閉後のバックチェック性能 (秒)  | Grade2  |                    | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。   |   | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)   | Grade2  |                    | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。   |   | 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 |                                     |        |               |        |               |        |
| 繰り直し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)  | —   |                    | —   |   | 耐久試験後±6mm以内           |                                     |        |               |        |               |        |
| 耐久性の試験回数 (繰り直し開閉回数)   | Grade2  |                    | 20万回  |   | 10万回                  |                                     |        |               |        |               |        |
| 注1.パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 注2.コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| Grade1を選定する場合は、図示による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (試験方法)  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法—第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ) に規定する試験方法による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 14  | 自動ドア開閉装置  | 自動ドア開閉装置           | マスターキー ※ 製作する ( 組 ) ・ 製作しない ・ 既存に組込む  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 鍵の製作本数  | ※ 各室3本1組 (室名札付き) ・                                |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 鍵箱  | ・ 設ける ( 個用 組 ) ・ 設けない                             |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | [ 5. 8. 4 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 引き戸用駆動装置  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | ※ 改修標準仕様書表5.9.1による  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 種類  | ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2               |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 性能  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ※ 改修標準仕様書表5.9.2による  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 引き戸用検出装置  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 性能  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| ※ 改修標準仕様書表5.9.3による  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 種類  | ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電流センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 車椅子使用者用便所スイッチの種類  | ・ 大型 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 戸の開閉方式  | ※ 建具表による  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 防錆  | ・ 適用する ・ 適用しない  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 凍結防止措置  | ・ 適用する ・ 適用しない  |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 15  | 重量シャッター   | 重量シャッター            | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ]   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (試験方法)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (2) 耐衝撃性試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (3) 気密性能試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 16  | 軽量シャッター   | 軽量シャッター               | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ] |        |               |        |               |        |
| (試験方法)  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (2) 耐衝撃性試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (3) 気密性能試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 17  | オーバーヘッドドア   | オーバーヘッドドア          |   |   |                       | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ] |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (試験方法)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (2) 耐衝撃性試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (3) 気密性能試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 18  | 木製建具  | 木製建具                  | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ] |        |               |        |               |        |
| (試験方法)  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (2) 耐衝撃性試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (3) 気密性能試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 19  | シャッター   | シャッター              |   |   |                       | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ] |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (試験方法)  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (2) 耐衝撃性試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | (3) 気密性能試験  |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
|   |   |                    | 20  | シャッター   | シャッター                 | 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [ 5. 10. 3 ] |        |               |        |               |        |
| (試験方法)  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引しとし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (2) 耐衝撃性試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| (3) 気密性能試験  |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |
| JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。   |   |                    |   |   |                       |                                     |        |               |        |               |        |

|  |  |                                       |                         |                                |  |                       |   |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|-----------------------|---|
|  <p>一級建築士事務所 広島県知事 登録 第20(1)2704号<br/> <b>佐伯建築設計事務所</b><br/>         〒728-0016 広島県三次市四拾貫町9-8<br/>         TEL(0824)64-2844 FAX(0824)64-3266</p> |  | <p>一級建築士 第223265号</p> <p>佐伯 晃 志 郎</p> | <p>構造設計</p> <p>設備設計</p> | <p>工事名</p> <p>三次小学校プール改修工事</p> | <p>図面名称</p> <p>建築工事特記仕様書(5)</p> <p>Noscale</p> | <p>検 印</p> <p>製 図</p> | <p>作成年月日</p> <p>R6.3.</p> <p>図面番号</p> <p>T-05</p> |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|-----------------------|---|

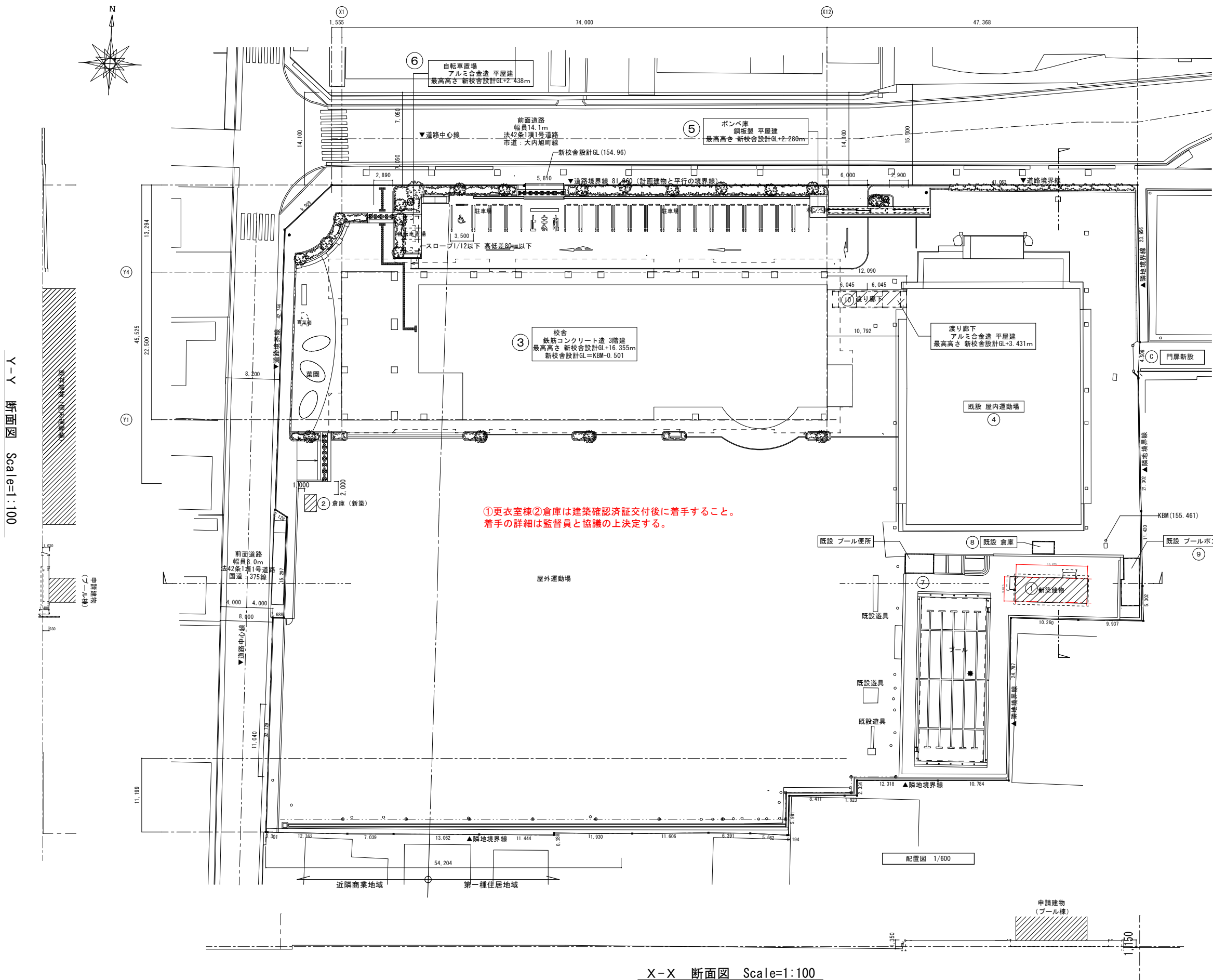


|    |                     |  |   |   |   |                      |         |
|----|---------------------|--|---|---|---|----------------------|---------|
| 22 | 合成樹脂塗床              | [ 6. 1 0. 2、3 ]  |   |   |   |                      |         |
|    |                     | 種別   | 施工箇所  | 工法  | 仕上りの種類  |                      |         |
|    |                     | ・ 厚膜型塗床材<br>弾性ウレタン樹脂系塗床  |   |   | ※ 平滑仕上げ<br>・ 防汚仕上げ<br>・ つや消し仕上げ   |                      |         |
|    |                     | ・ 厚膜型塗床材<br>エポキシ樹脂系塗床  |   | ・ 薄膜流しのペ工法<br>・ 厚膜流しのペ工法<br>・ 樹脂モルタル工法  | ・ 平滑仕上げ<br>・ 防汚仕上げ  |                      |         |
|    |                     | ・ 薄膜型塗床材   |   |   | ※ 平滑仕上げ   |                      |         |
|    |                     | 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆   |   |   |   |                      |         |
| 23 | 防じん用塗床              | 材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする<br>工法 製造所の指定する工法とする<br>なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0. 2 5 kg/m <sup>2</sup> 以上とする<br>仕上りの種類 ( ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ) ( ※ 標準色 )<br>JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆          |   |   |   |                      |         |
|    |                     | [ 6. 1 1. 2～6 ]  |   |   |   |                      |         |
| 24 | フローリング張り            | 単層フローリング   |   |   |   |                      |         |
|    |                     | 種類   | 工法  | 樹種  | 厚さ (mm)   | 間伐材等の適用              |         |
|    |                     | ・ フローリング<br>ボード1等  | ・ 釘留め工法 (根太張り)<br>・ 釘留め工法 (直張り)   | ※ なら<br>※ なら  | ・ 15<br>・ 12  | ・<br>・               |         |
|    |                     | ・ フローリング<br>ブロック1等   | ・ 接着工法  | ※ なら  | ・ 8<br>・ 15   | ・<br>・               |         |
|    |                     | 複合フローリング   |   |   |   |                      |         |
|    |                     | 種類   | 工法  | 樹種  | 種別  | 厚さ (mm)              | 間伐材等の適用 |
|    |                     | ・ 天然木化粧複合<br>フローリング  | ・ 釘留め工法 (根太張り)<br>・ 釘留め工法 (直張り)   | ※ なら<br>・   | ・ A種<br>・ B種<br>※ C種  | ・ 15<br>・ 12<br>・ 12 | ・<br>・  |
|    |                     | ・ 接着工法   | ※ なら  | ・ A種<br>・ B種<br>※ C種  | ・ 12<br>・ 12<br>・ 12  | ・<br>・               |         |
|    |                     | フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書6.11.2(2)による<br>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆<br>接着工法の場合の裏面接着材 ※ 合成樹脂発泡シート<br>現場塗装仕上げ ・ 行う<br>※ ウレタン樹脂ワニス塗り<br>・ オイルステインの上、ワックス塗り<br>・ 生地そのままワックス塗り<br>・ 行わない |   |   |   |                      |         |
|    |                     | [ 6. 1 2. 2 ]  |   |   |   |                      |         |
| 25 | 畳敷き                 | 種別   | ・ A種<br>・ B種<br>・ C種  | ※ D種 (畳床： ・ KT-I<br>・ KT-II<br>※ KT-III<br>・ KT-K<br>・ KT-N)  | [ 6. 1 2. 2 ]   |                      |         |
|    |                     | 下地の種類  | ・ 標準仕様書表12.6.1による床組<br>・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)<br>・<br>・<br>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。<br>衝撃緩和型畳 (畳表： ・ CI<br>・ C2) |   |   |                      |         |
| 26 | せっこうボードその他ボード及び合板張り | MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆<br>合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19.7.2(2)(i)の(a)～(d)のいずれか  |   |   |   |                      |         |
|    |                     | 種 類  | JISの記号  | 厚さ (mm)、規格等   |   |                      |         |
|    |                     | ・ 硬質木毛セメント板  | HW  | ・ 15<br>・ 20<br>・ 25  | ・<br>・  |                      |         |
|    |                     | ・ 中質木毛セメント板  | MW  | ・ 15<br>・ 20<br>・ 25  | ・<br>・  |                      |         |
|    |                     | ・ 普通木毛セメント板  | NW  | ・ 15<br>・ 20<br>・ 25  | ・<br>・  |                      |         |
|    |                     | ・ 硬質木片セメント板  | HF  | ・ 12<br>・ 15<br>・ 18<br>・ 21  | ・<br>・  |                      |         |
|    |                     | ・ 普通木片セメント板  | NF  | ・ 30  | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ けい酸カルシウム板  | 0.8FK<br>1.0FK  | タイプ 2 (無石棉)   | ・ 6<br>・ 8  | ・<br>・               |         |
|    |                     | ・ 化粧けい酸カルシウム板  | 0.8FK<br>1.0FK  | タイプ 2 (無石棉)   | ・ 6<br>・ 8  | ・<br>・               |         |
|    |                     | ・ ロックウール吸音板  | DR  | ・ フラットタイプ ( ・ 9(不燃)<br>・ 12(不燃)<br>・ 凹凸タイプ ( ・ 12(不燃)<br>・ 15(不燃)<br>・ )  | ・<br>・<br>・<br>・  |                      |         |
|    |                     | ・ ロックウール吸音ボード1号  | RW-B  | ・ 25  | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ グラスウール吸音ボード32K   | GW-B  | ・ 25(ガラスクロス包)   | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ せっこうボード  | GB-R  | ※ 12.5 (不燃)   | ・ 15 (不燃)   | ・                    |         |
|    |                     | ・ 不燃層附せっこうボード  | GB-NC   | 9.5 (不燃)  | 化粧無 (下地張り用)<br>化粧有 (トラバーチン模様)   | ・                    |         |
|    |                     | ・ シーリングせっこうボード   | GB-S  | 12.5 ( ※不燃<br>・ 準不燃)  | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ 強化せっこうボード  | GB-F  | ・ 12.5 (不燃)   | ・ 15 (不燃)   | ・                    |         |
|    |                     | ・ せっこうラスボード  | GB-L  | 9.5   | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ 化粧せっこうボード<br>(トラバーチン模様)  | GB-D  | 9.5 (準不燃)   | ・   |                      |         |
|    |                     | ・ 普通合板   |   | 表板の樹種名<br>生地、透明塗料塗り<br>( ※ ラワン程度<br>・ )<br>不透明塗料塗り<br>( ※ しな程度<br>・ )<br>板面の品質 ( )<br>厚さ (mm) ( )<br>防着の程度 ( ・ 1類<br>・ 2類 )<br>防虫処理 ( ・ 行う<br>・ 行わない) | ・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ |                      |         |



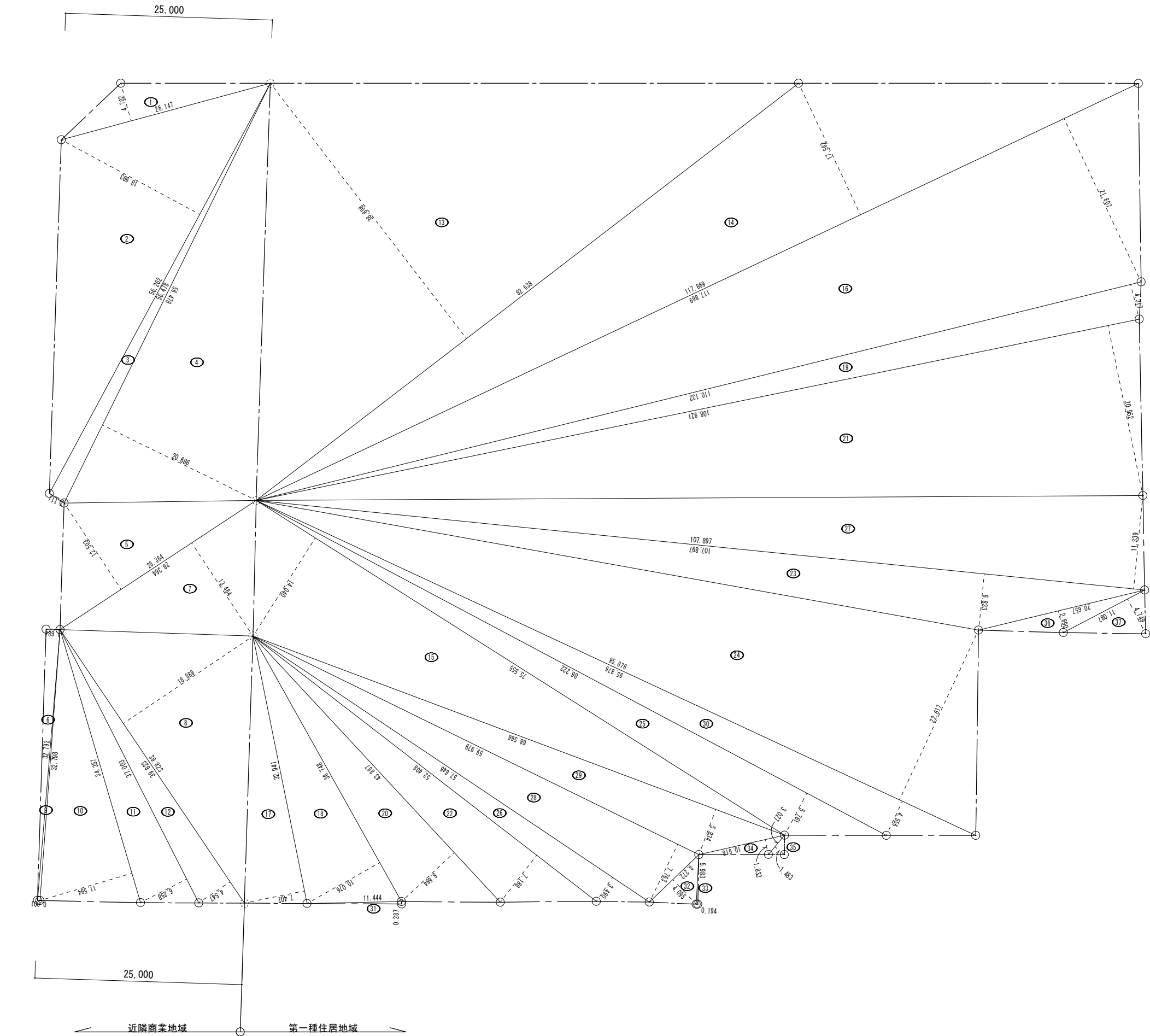
|   |  |                                  |  |                |  |                      |  |                 |  |            |  |
|---|--|----------------------------------|--|----------------|--|----------------------|--|-----------------|--|------------|--|
|  一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号<br><b>佐伯建築設計事務所</b> |  | 一級建築士 建設大臣 第223265号<br>佐 伯 晃 志 郎 |  | ・構造設計<br>・設備設計 |  | 工事名称<br>三次小学校プール改修工事 |  | 図面名称<br>平面図・立面図 |  | 縮尺<br>1:50 |  |
|---|--|----------------------------------|--|----------------|--|----------------------|--|-----------------|--|------------|--|





| 床面積                         |          |             |
|-----------------------------|----------|-------------|
| ① 更衣室棟                      | 40.0     | ㎡           |
| ② 倉庫                        | 4.7      | ㎡           |
| 新設建物床面積合計                   |          | 44.7 ㎡      |
| ③ 校舎（既存）                    | 4,961.97 | ㎡           |
| ④ 屋内運動場（既存）                 | 981.00   | ㎡           |
| ⑤ ボンベ庫（既存）（ 2.00 × 1.00 ）   | 2.00     | ㎡           |
| ⑥ 自転車置場（既存）（ 1.00 × 5.358 ） | 5.36     | ㎡           |
| ⑦ プール便所（既存）                 | 13.33    | ㎡           |
| ⑧ 倉庫（既存）                    | 7.88     | ㎡           |
| ⑨ プールポンプ室（既存）               | 18.88    | ㎡           |
| 既設建物床面積合計                   |          | 5,995.770 ㎡ |
| 床面積合計                       |          | 6,040.47 ㎡  |
| 容積率対象床面積                    |          |             |
| ① 更衣室棟                      | 40.0     | ㎡           |
| ② 倉庫                        | 4.7      | ㎡           |
| ③ 校舎（既存）                    | 1,888.66 | ㎡           |
| ④ 屋内運動場（既存）                 | 981.00   | ㎡           |
| ⑤ ボンベ庫（既存）                  | 2.00     | ㎡           |
| ⑦ プール便所（既存）                 | 13.33    | ㎡           |
| ⑧ 倉庫（既存）                    | 7.88     | ㎡           |
| ⑨ プールポンプ室（既存）               | 18.88    | ㎡           |
| 容積対象床面積合計                   |          | 2,956.45 ㎡  |
| 建築面積                        |          |             |
| ① 更衣室棟                      | 40.0     | ㎡           |
| ② 倉庫                        | 4.7      | ㎡           |
| 新設建物建築面積合計                  |          | 44.7 ㎡      |
| ③ 校舎（既存）                    | 4,961.97 | ㎡           |
| ④ 屋内運動場（既存）                 | 1105.45  | ㎡           |
| ⑩ 渡り廊下（ 9.40 × 2.33 ）       | 21.90    | ㎡           |
| ⑤ ボンベ庫（ 2.00 × 1.00 ）       | 2.00     | ㎡           |
| ⑥ 駐輪場（ 1.00 × 5.358 ）       | 5.36     | ㎡           |
| ⑦ プール便所（既存）                 | 13.33    | ㎡           |
| ⑧ 倉庫（既存）                    | 7.88     | ㎡           |
| ⑨ プールポンプ室（既存）               | 18.88    | ㎡           |
| 既設建物建築面積合計                  |          | 6,136.77 ㎡  |
| 建築面積合計                      |          | 6,181.47 ㎡  |





近隣商業地域部分面積

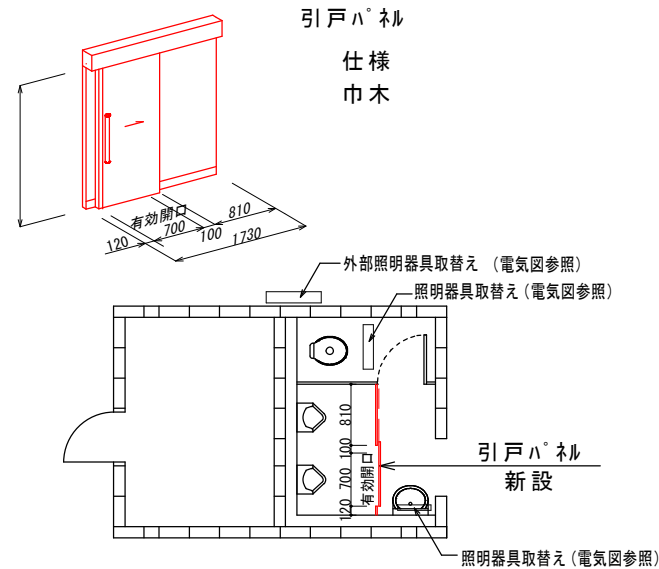
| 番号      | 底 辺    | 高 さ    | 倍 面 積        | 面 積                     |
|---------|--------|--------|--------------|-------------------------|
| 1       | 26.147 | 4.702  | 122.943194   | 61.4715970              |
| 2       | 56.262 | 18.993 | 1,068.584166 | 534.2920830             |
| 3       | 56.478 | 2.111  | 119.225058   | 59.6125290              |
| 4       | 56.478 | 20.686 | 1,168.303908 | 584.1519540             |
| 5       | 28.364 | 12.503 | 354.635092   | 177.3175460             |
| 6       | 32.792 | 1.684  | 55.221728    | 27.6108640              |
| 7       | 28.364 | 13.464 | 381.892896   | 190.9464480             |
| 8       | 39.823 | 18.889 | 752.216647   | 376.1083235             |
| 9       | 32.798 | 0.301  | 9.872198     | 4.9360990               |
| 10      | 34.357 | 11.594 | 398.335058   | 199.1675290             |
| 11      | 37.003 | 6.258  | 231.564774   | 115.7823870             |
| 12      | 39.823 | 4.547  | 181.075181   | 90.5375905              |
| 合 計     |        |        |              | 2,421.9349500           |
| 敷 地 面 積 |        |        |              | 2,421.93 m <sup>2</sup> |

第一種住居地域部分面積

| 番号      | 底 辺     | 高 さ    | 倍 面 積        | 面 積                     |
|---------|---------|--------|--------------|-------------------------|
| 13      | 82.638  | 38.898 | 3,214.452924 | 1,607.2264620           |
| 14      | 117.869 | 17.562 | 2,070.015378 | 1,035.0076890           |
| 15      | 75.555  | 14.040 | 1,060.792200 | 530.3961000             |
| 16      | 117.869 | 21.807 | 2,570.369283 | 1,285.1846415           |
| 17      | 32.941  | 7.402  | 243.829282   | 121.9146410             |
| 18      | 36.748  | 10.076 | 370.272848   | 185.1364240             |
| 19      | 110.132 | 4.317  | 475.439844   | 237.7199220             |
| 20      | 43.887  | 8.684  | 381.114708   | 190.5573540             |
| 21      | 108.921 | 20.952 | 2,282.112792 | 1,141.0563960           |
| 22      | 52.408  | 7.186  | 376.603888   | 188.3019440             |
| 23      | 107.897 | 6.833  | 737.260201   | 368.6301005             |
| 24      | 95.876  | 22.617 | 2,168.427492 | 1,084.2137460           |
| 25      | 86.222  | 5.761  | 496.724942   | 248.3624710             |
| 26      | 57.646  | 3.490  | 201.184540   | 100.5922700             |
| 27      | 107.897 | 11.339 | 1,223.444083 | 611.7220415             |
| 28      | 59.979  | 7.763  | 465.616977   | 232.8084885             |
| 29      | 68.566  | 5.834  | 400.014044   | 200.0070220             |
| 30      | 95.876  | 4.556  | 436.811056   | 218.4055280             |
| 31      | 11.444  | 0.287  | 3.284428     | 1.6422140               |
| 32      | 8.272   | 4.095  | 33.873840    | 16.9369200              |
| 33      | 5.983   | 0.194  | 1.160702     | 0.5803510               |
| 34      | 10.618  | 1.832  | 19.452176    | 9.7260880               |
| 35      | 3.027   | 1.483  | 4.489041     | 2.2445205               |
| 36      | 20.657  | 2.690  | 55.567330    | 27.7836650              |
| 37      | 11.087  | 4.749  | 52.652163    | 26.3260815              |
| 合 計     |         |        |              | 9,672.4830810           |
| 敷 地 面 積 |         |        |              | 9,672.48 m <sup>2</sup> |

全体敷地面積

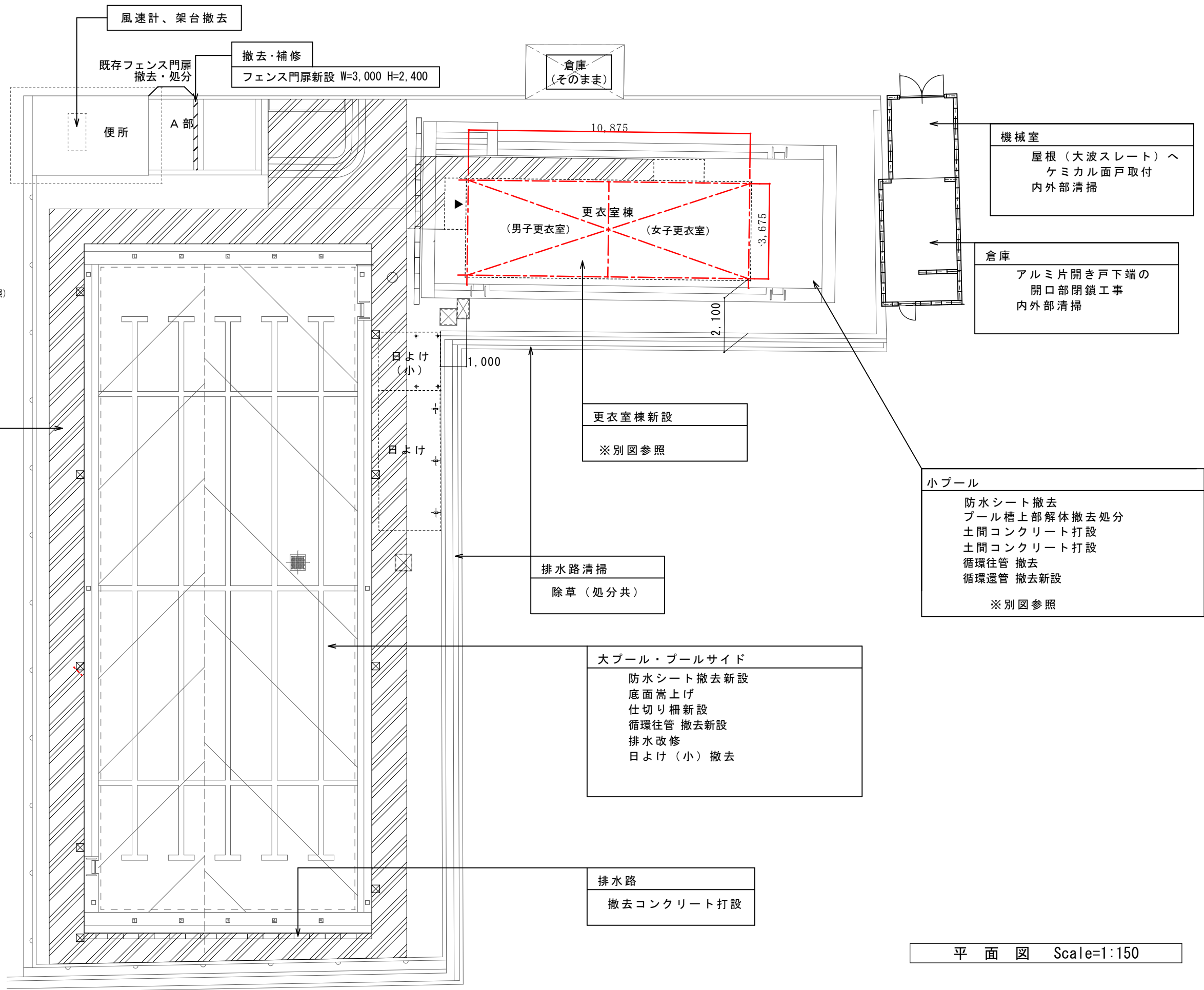
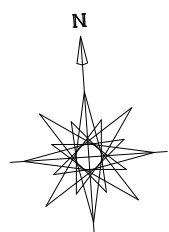
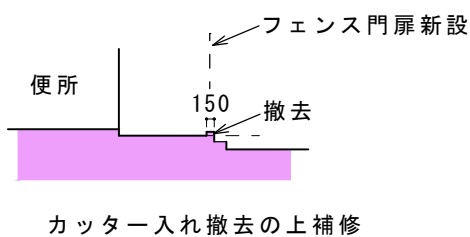
|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 近隣商業地域合計  | 2,421.9349500            |
| 第一種住居地域合計 | 9,672.4830810            |
| 合 計       | 12,094.418031            |
| 全体敷地面積    | 12,094.41 m <sup>2</sup> |



便所平面図 Scale=1:100

土間シート新設  
長尺W=1350  
計101m

A部



平面図 Scale=1:150



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

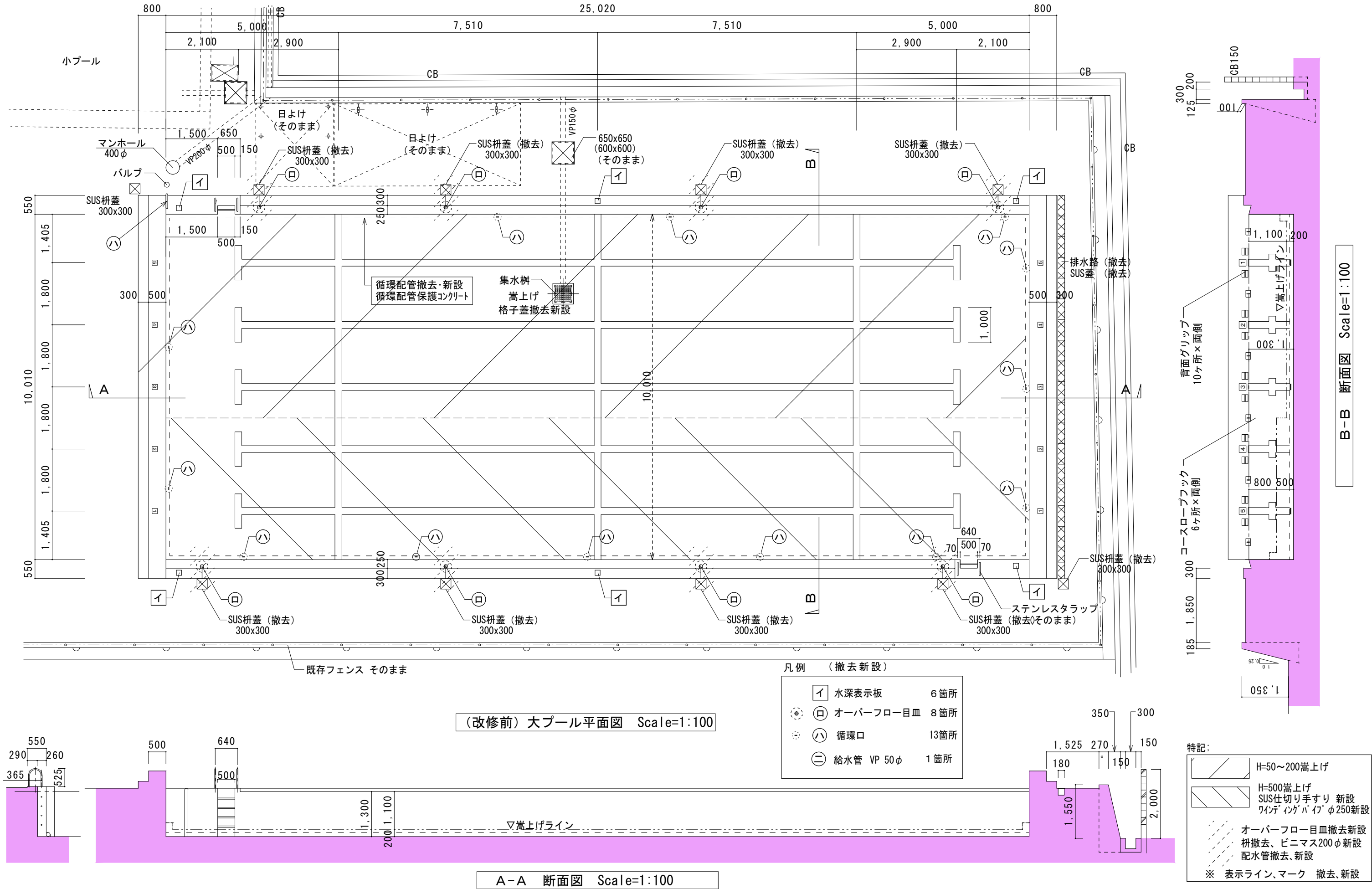
三次小学校プール改修工事

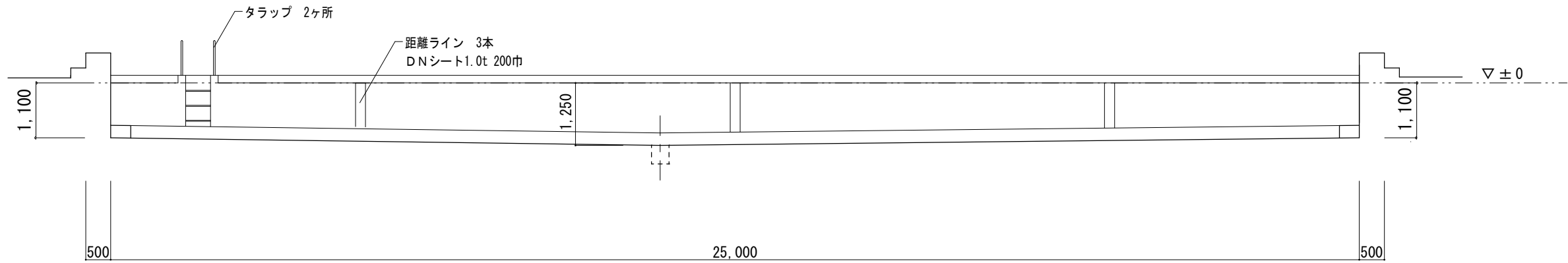
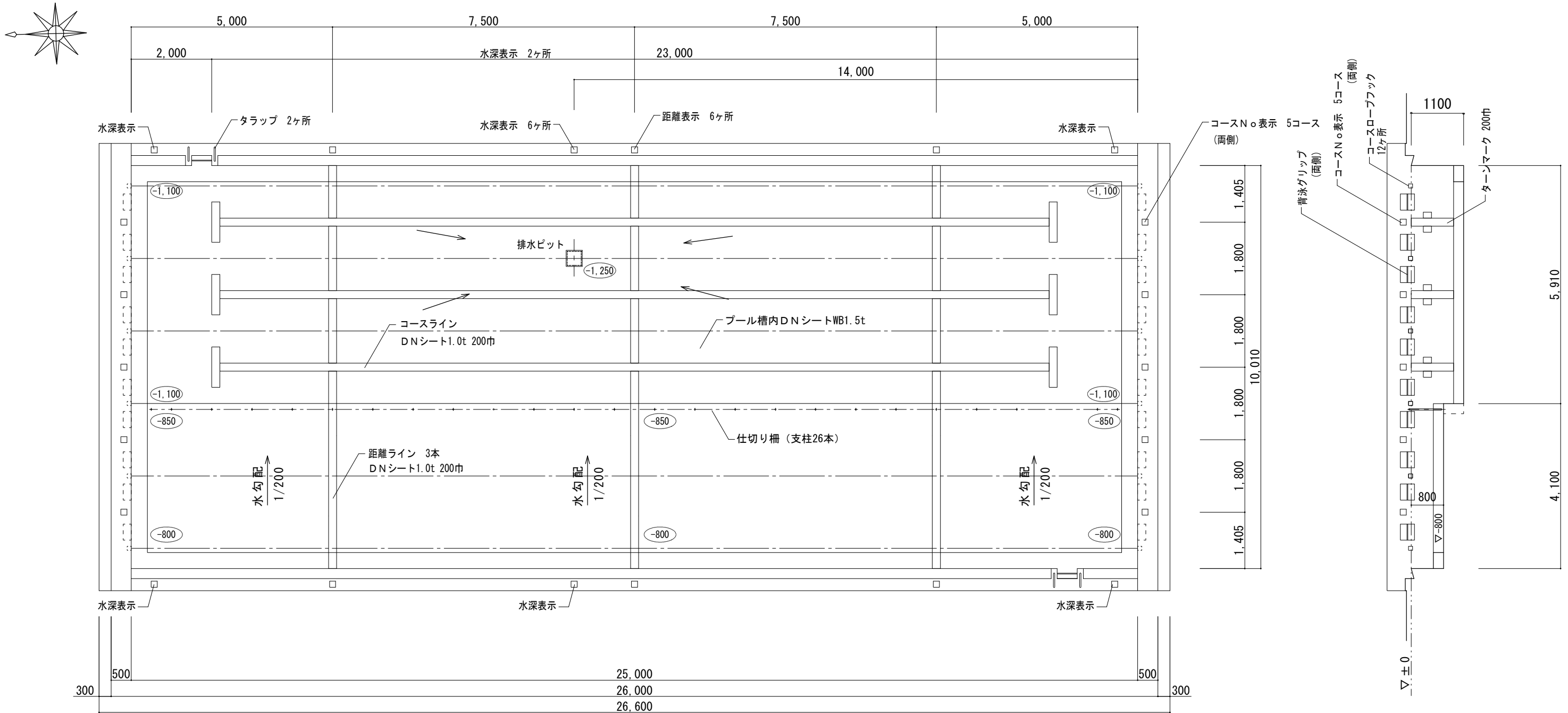
図面名称

平面図

縮尺

1:150





|              | 数 量 |
|--------------|-----|
| オーバーフロー排水口   | 8   |
| 循環吐出口        | 13  |
| 仕切り柵支柱       | 26  |
| 背泳用グリップBOX   | 10  |
| コースロープフックBOX | 8   |
| タラップ         | 2   |
| 排水ピット        | 1   |



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

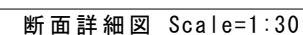
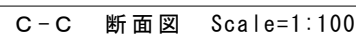
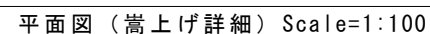
図面名称

(改修後)大プール 平面図・断面図

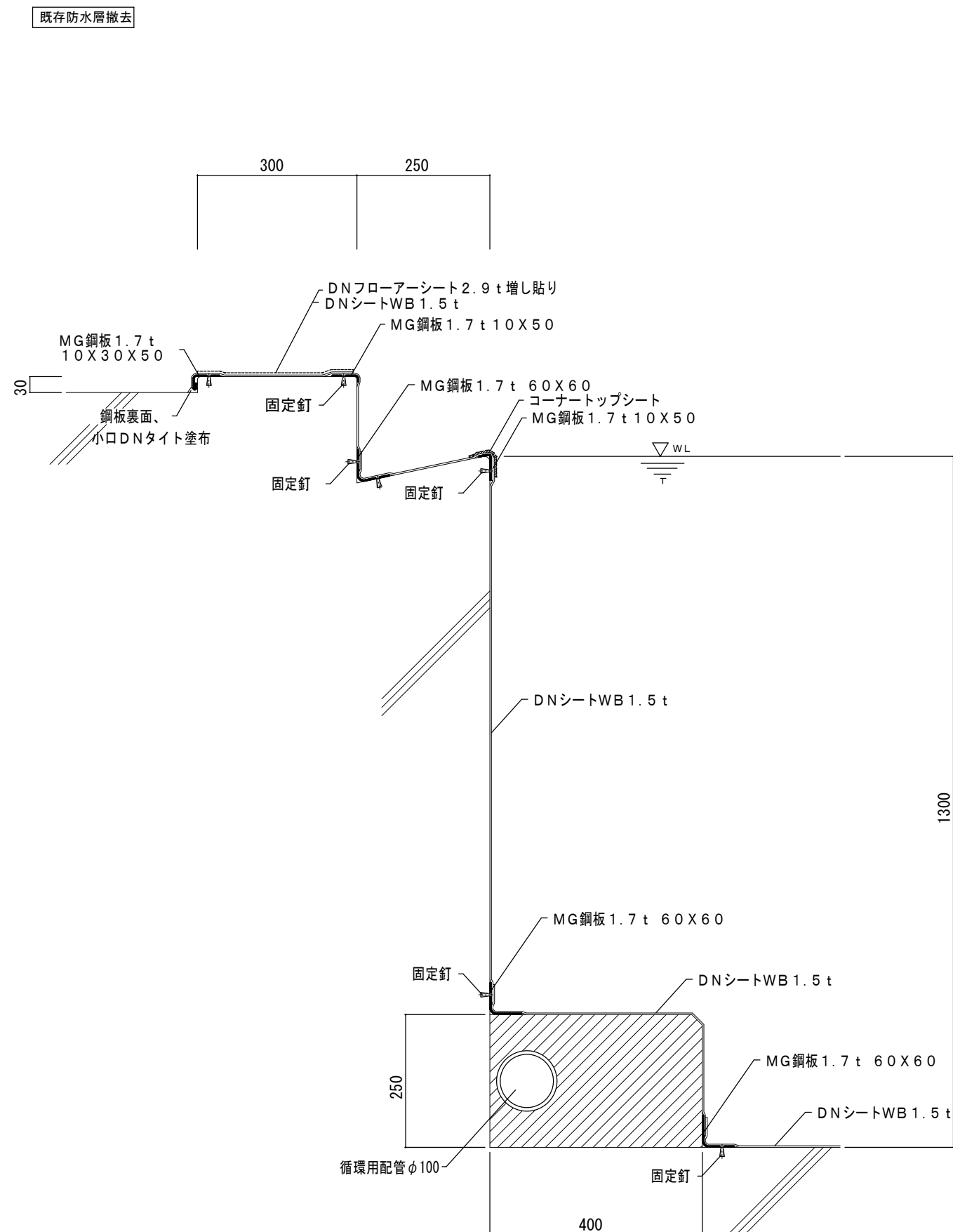
縮尺

1:100





長辺断面防水詳細図



Technical drawing showing a circular structure with a central plug and a cross-section detail.

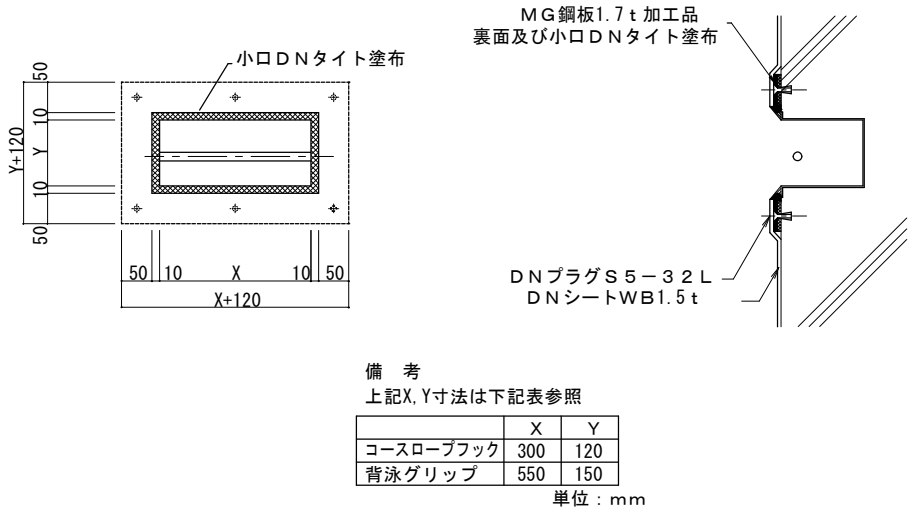
**Top View:**

- Central plug: カイダック板 3.0 t  $\phi$  195 裏面DNタイツ500#塗布
- Surrounding area: 取り付け後塩ビ溶接

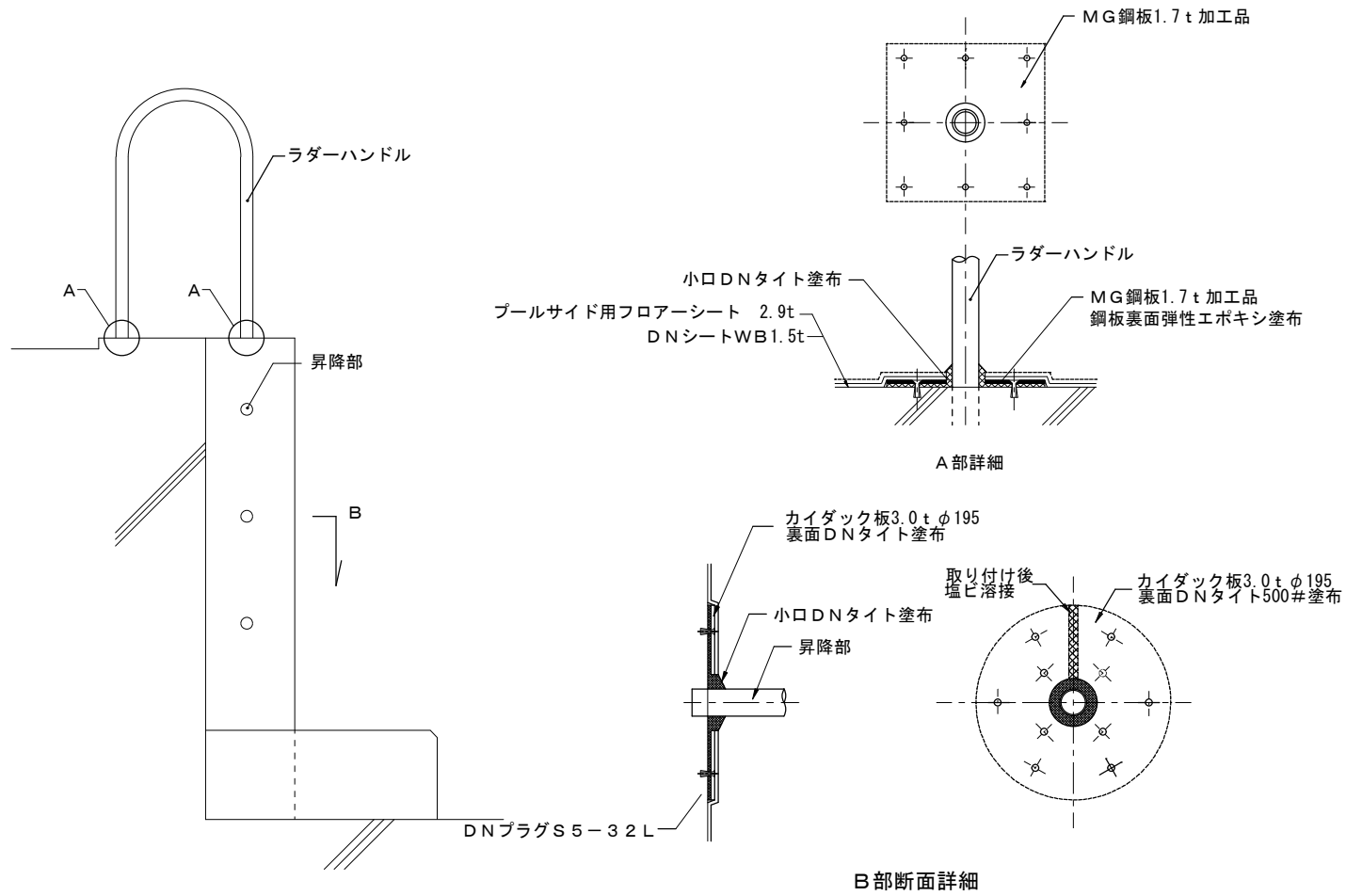
**Section View (A部断面詳細):**

- Central plug: カイダック板 3.0 t  $\phi$  195 裏面DNタイツ塗布
- Surrounding area: 仕切り柵 (支柱25本)
- Plug type: DNプラグ S5-32L

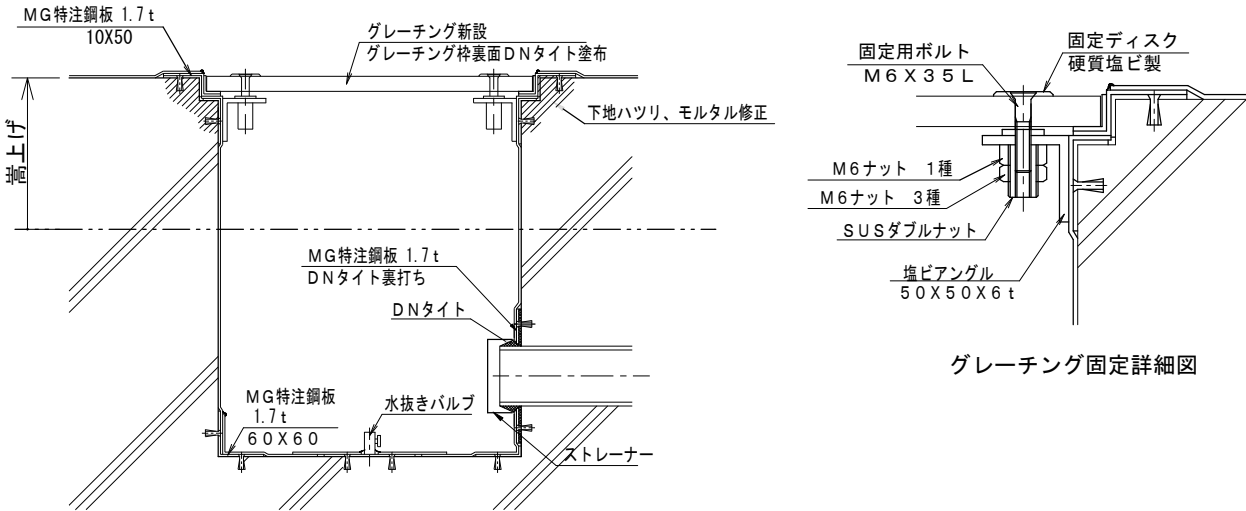
コースロープフック、背泳グリップ断面防水詳細図



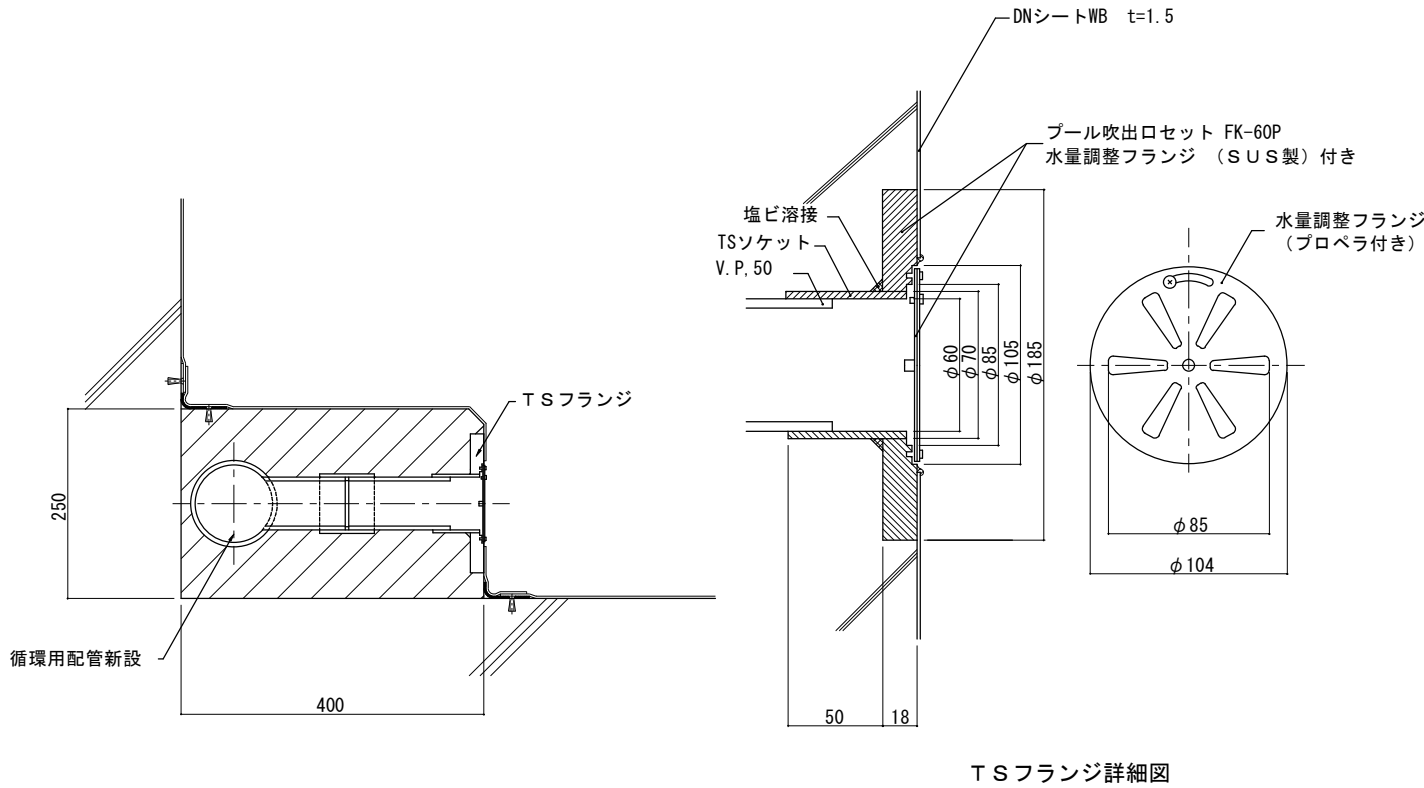
ラダーハンドル・昇降部防水詳細図



排水ピット断面防水詳細図



側循環用吐出口詳細図



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

各部防水詳細図  
三次小学校プール改修工事

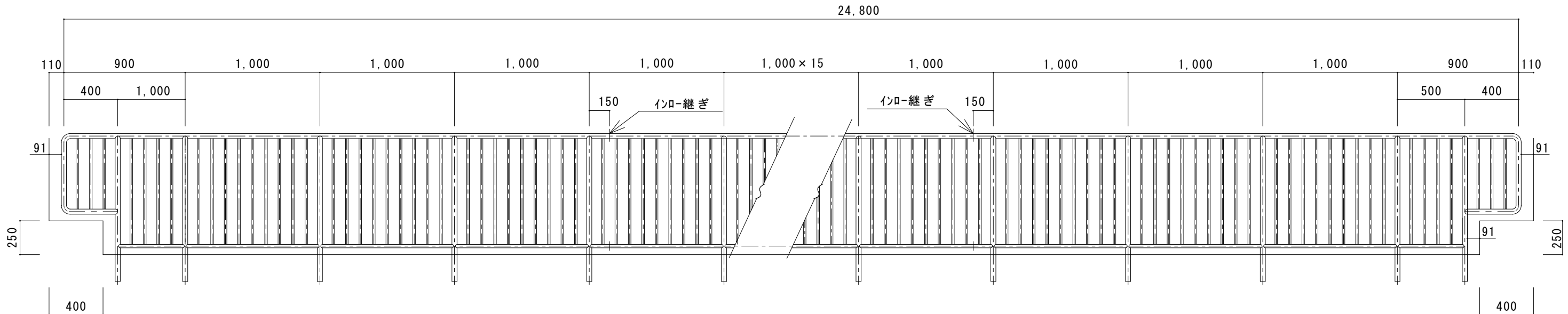
図面名称

大プール（改修前）平面図・断面図

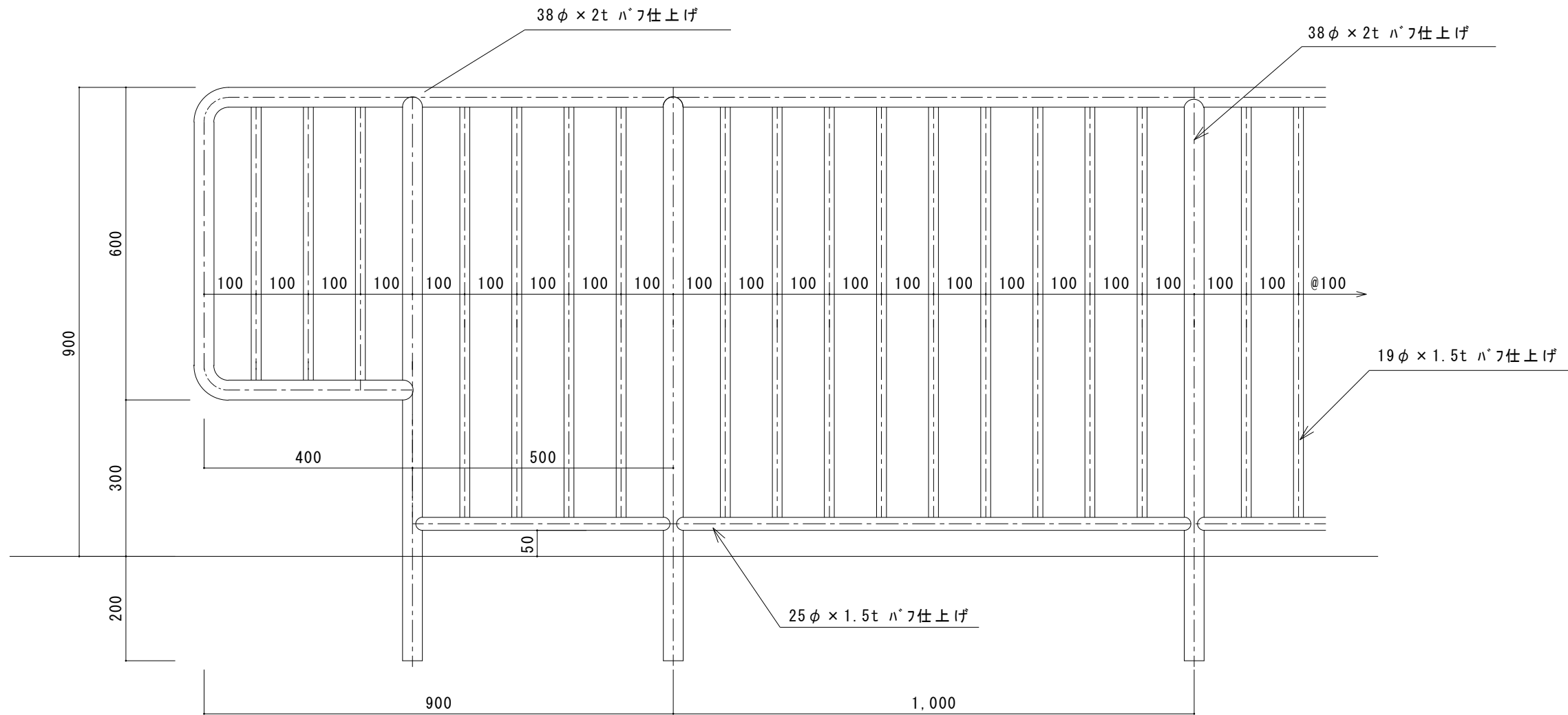
縮尺

1:10





仕切柵詳細図 Scale=1:30



仕切柵詳細図 Scale=1:10

材質 : SUS 304 h^7仕上げ  
(7分割)



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号  
**佐伯建築設計事務所**

一級建築士 建設大臣 第223265号  
佐伯晃志郎

・構造設計  
・設備設計

工事名称  
三次小学校プール改修工事

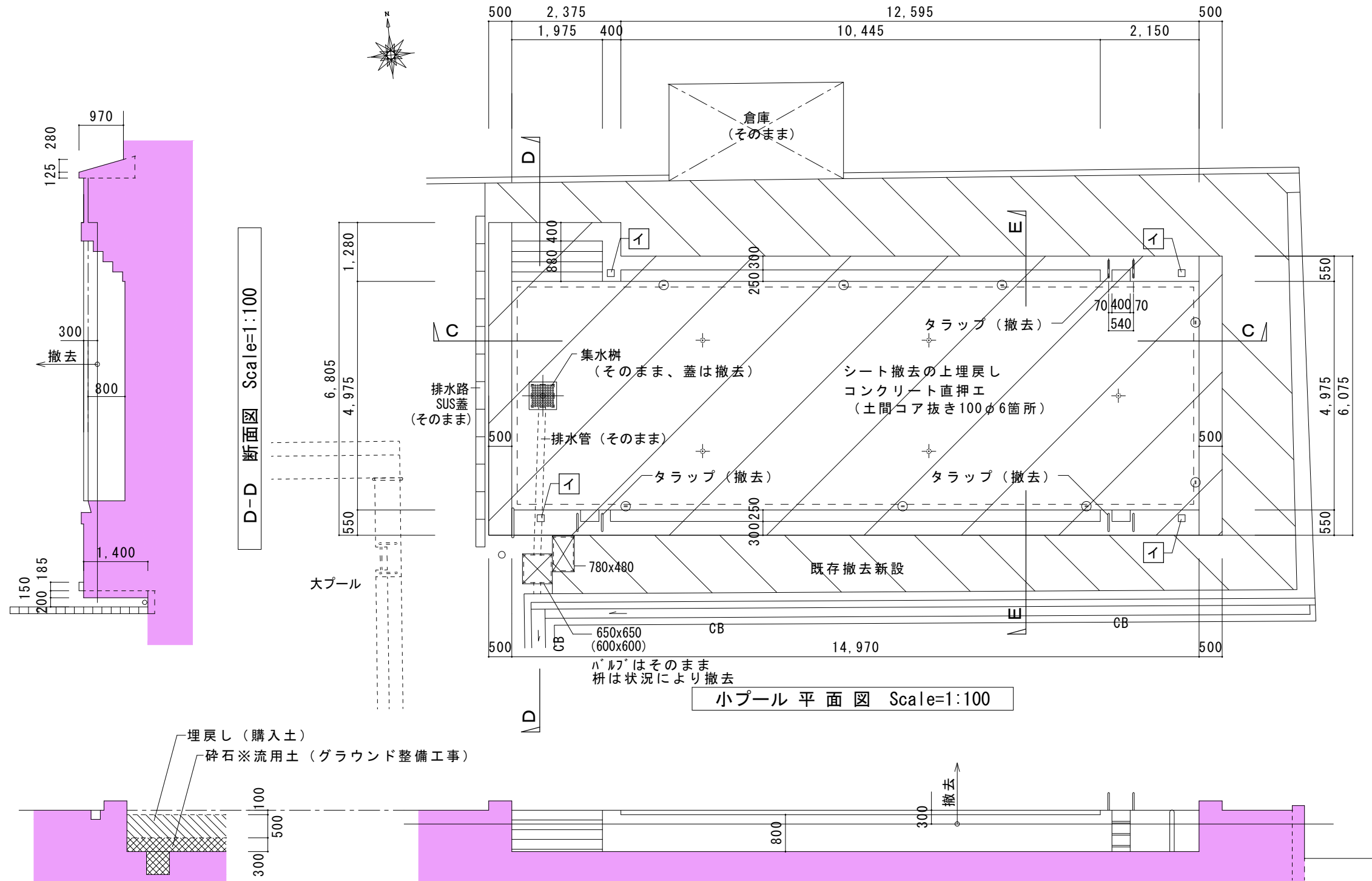
図面名称  
仕切柵詳細図

縮尺  
1:30, 1:10

※特記事項

防水シート撤去  
プール槽上部解体撤去処分  
土間コンクリート打設  
更衣室棟新設

循環往管 撤去  
循環還管 撤去新設



凡例

|   |                |
|---|----------------|
| イ | 6箇所            |
| ⊙ | オーバーフロー目皿 8箇所  |
| ⊗ | 循環口 13箇所       |
| ⊖ | 給水管 VP 50φ 4箇所 |



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

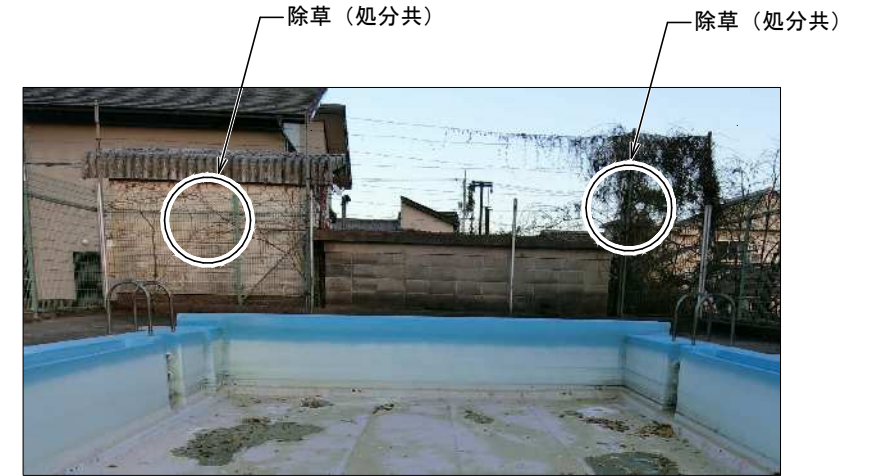
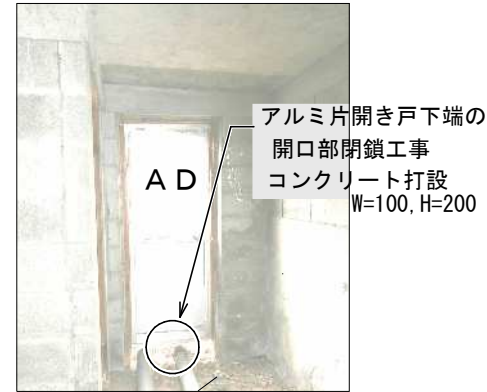
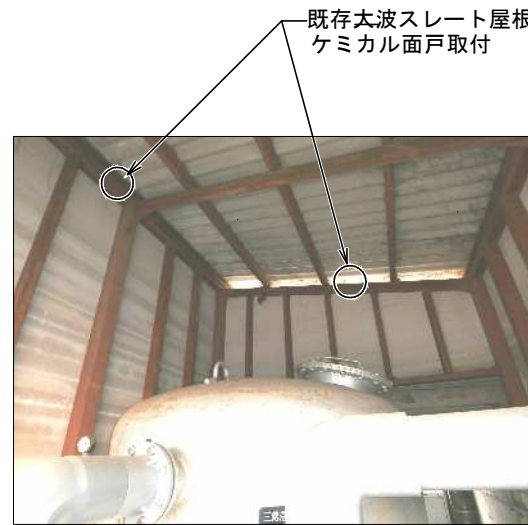
図面名称

(改修前) 小プール平面・断面図

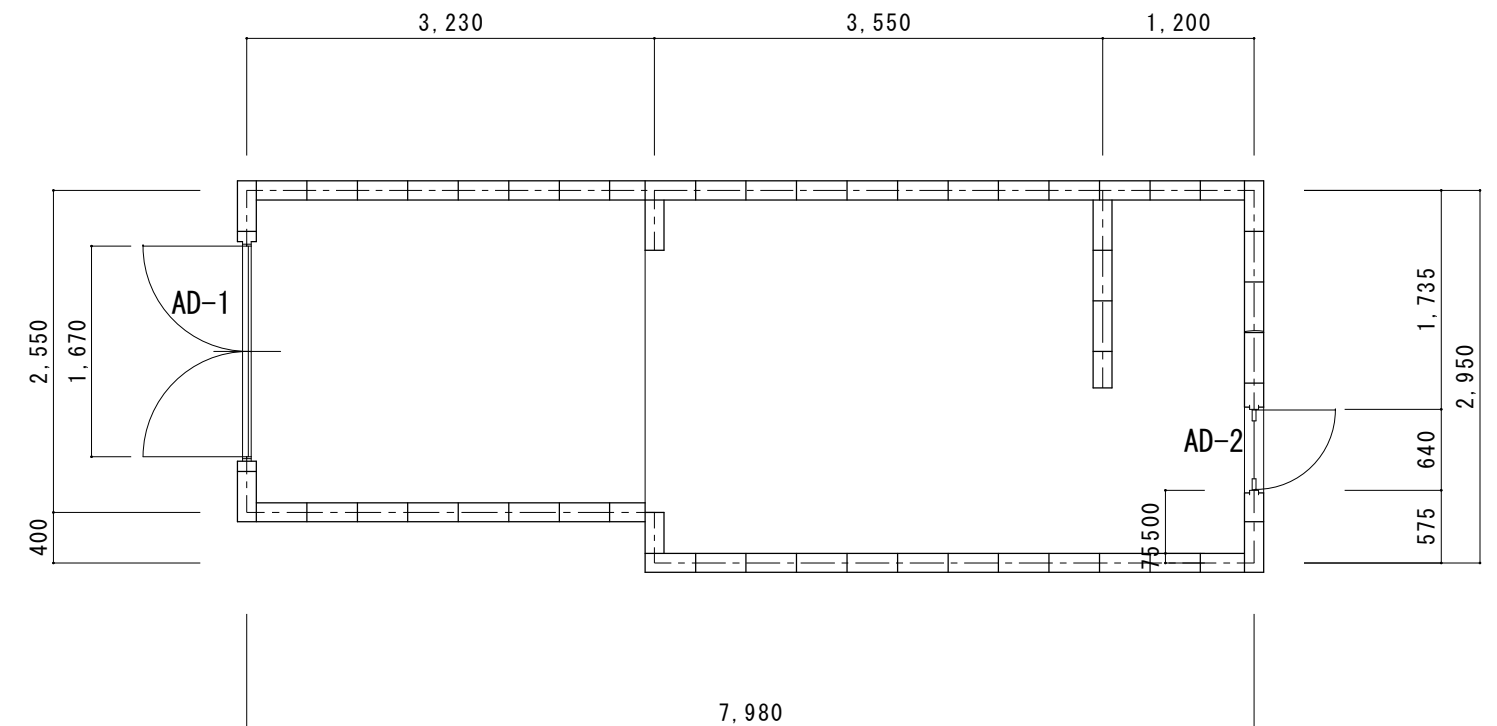
縮尺

1:100

ポンプ室



大プール全景



ポンプ室平面図 S=1:60



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号  
**佐伯建築設計事務所**

一級建築士 建設大臣 第223265号  
佐伯晃志郎

・構造設計  
・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

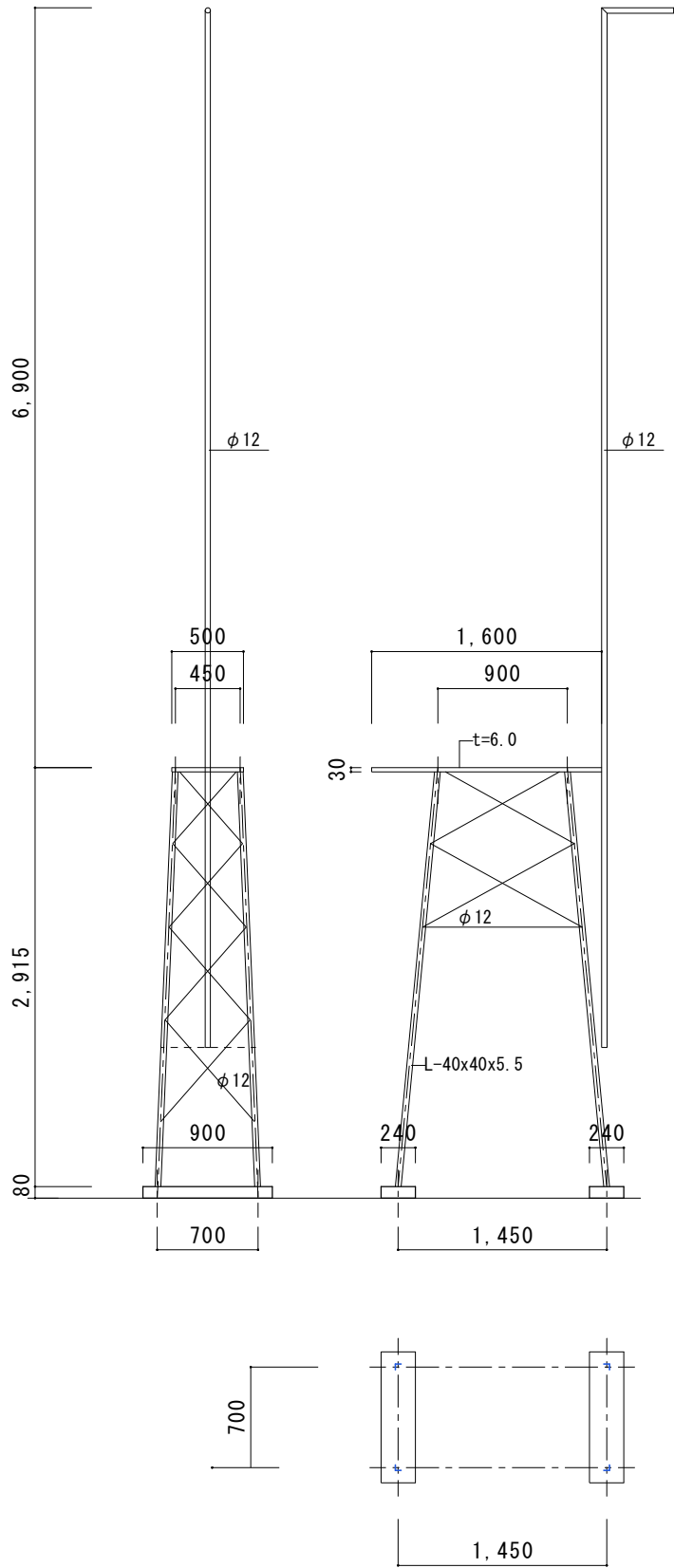
図面名称

フェンス 機械室

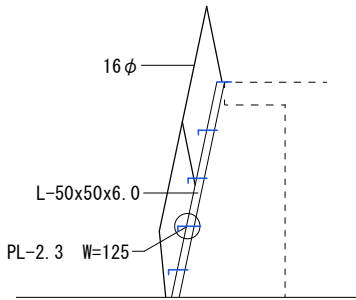
改修図

縮尺

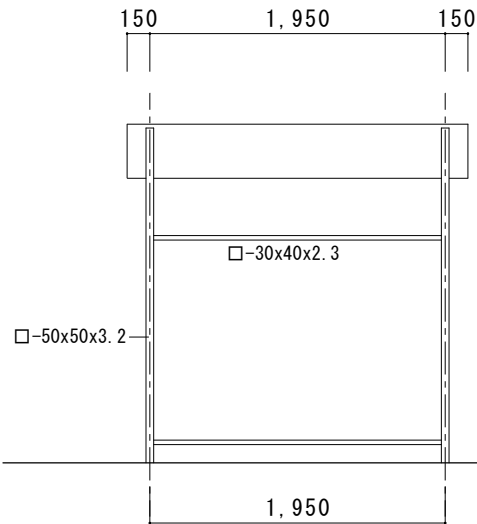
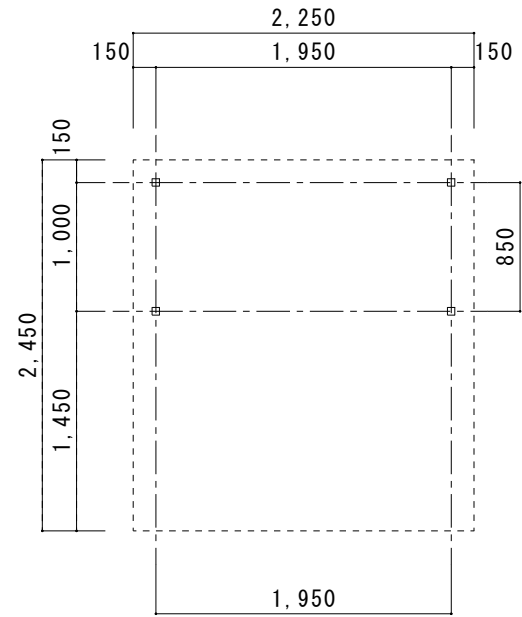
1:60



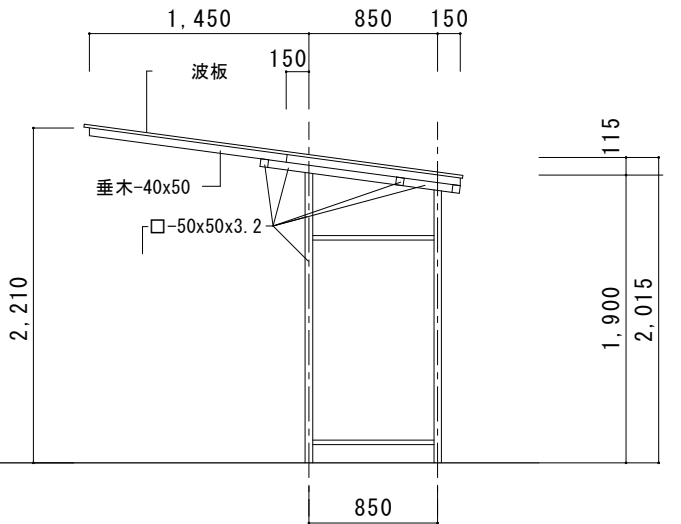
架台(風速計・風向計)



タラップ



日よけ



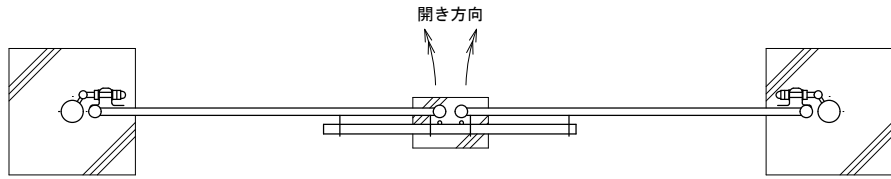
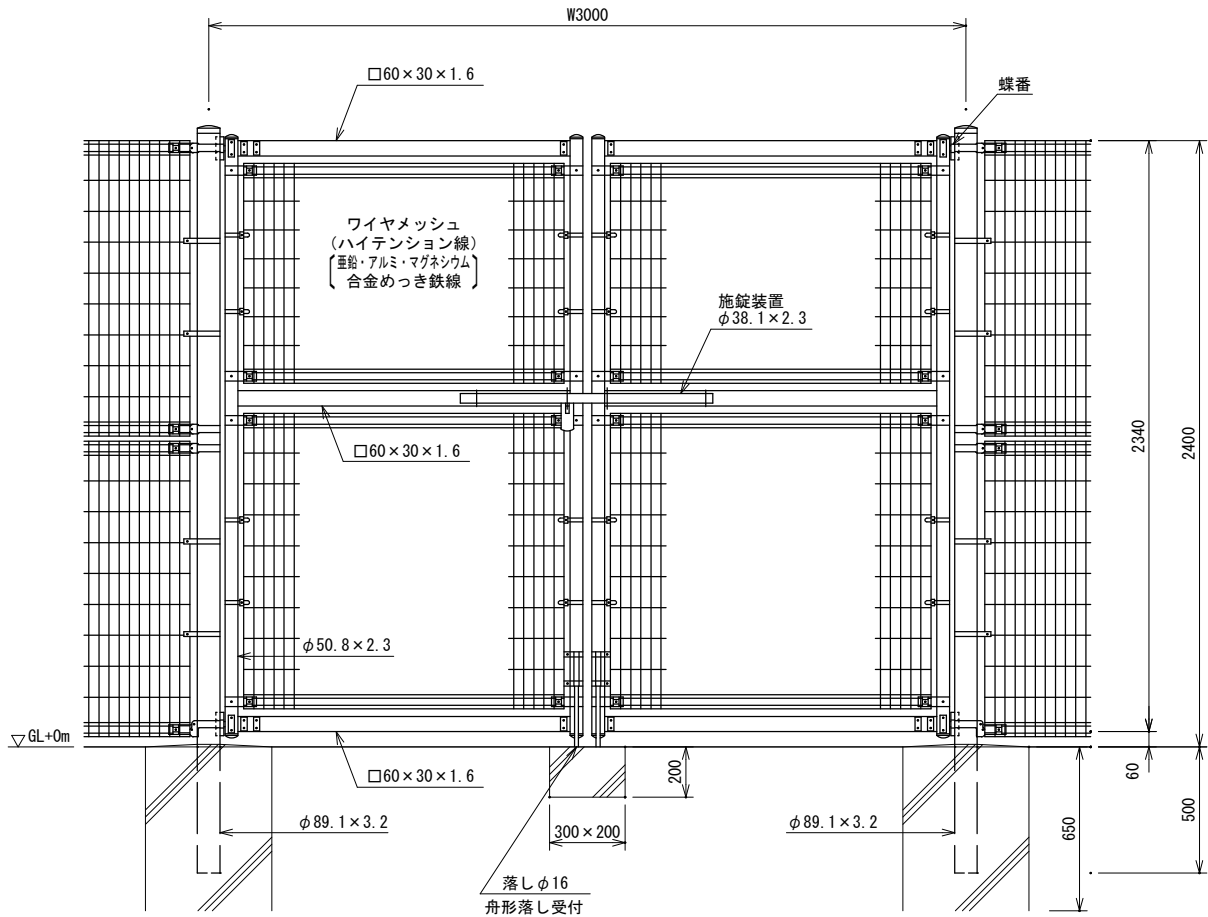
日よけ詳細図 Scale=1:50



UN両開き門扉 H2400×W3000（参考図）

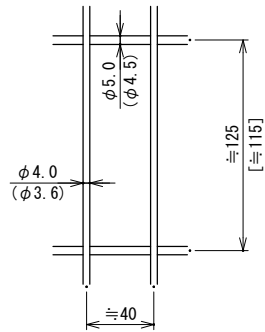
S=1:20

（昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る）

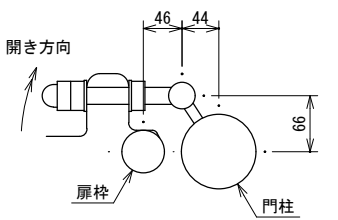


ワイヤメッシュ図

( ) 内は芯径を示す。  
[ ] 内は上部パネルを示す。



門柱・扉枠位置関係図



設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m<sup>2</sup> (10t/m<sup>2</sup>)

備考

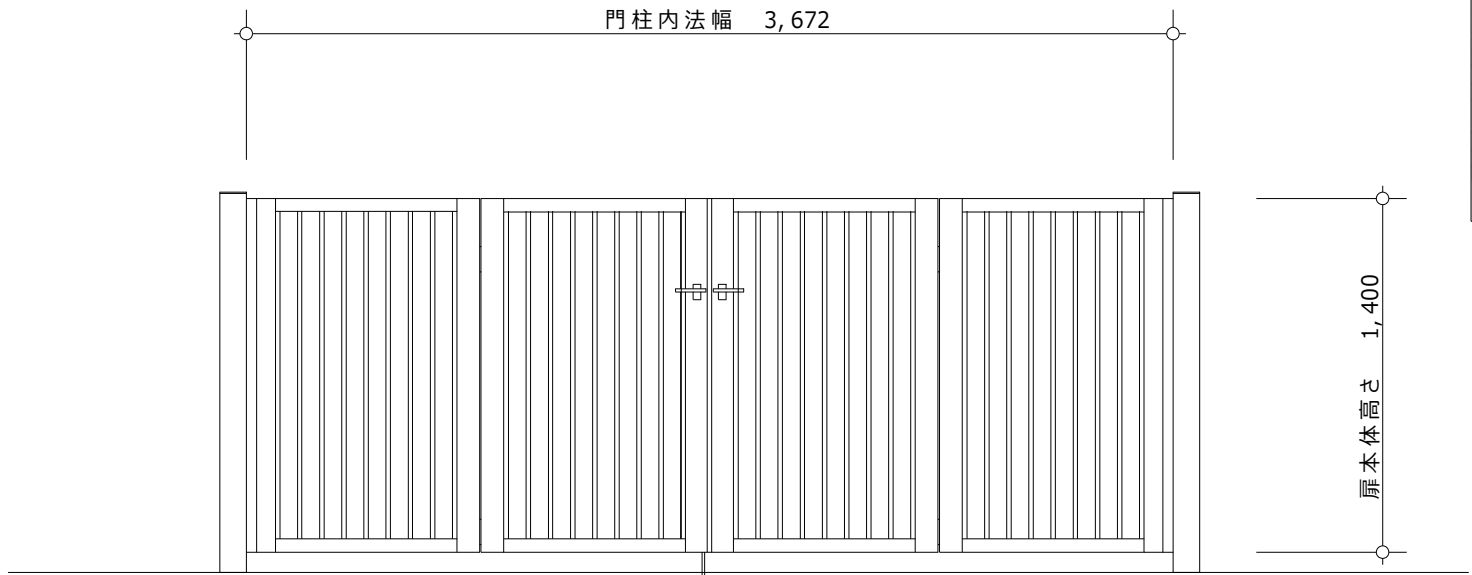
1. 外装について

- ・門柱
- ・溶融亜鉛めっきの耐候性樹脂粉体塗装
- ・枠体、ジョイント
- ・押え金具
- ・ワイヤメッシュ
- ・溶融亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの耐候性樹脂粉体塗装
- ・バンド
- ・溶融亜鉛・アルミ合金めっきの耐候性樹脂粉体塗装
- ・U型金具
- ・溶融亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの防錆着色処理
- ・ボルト、ナット
- ・溶融亜鉛めっきの防錆着色処理とし、一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ
- ・施錠装置、落しボルト式蝶番
- ・溶融亜鉛めっきのみ

2. 本図門扉は施錠と反対側180°開き、施錠側落しとする。

門扉折戸 h=1400

（三協アルミ 4枚折り扉 シリAT2型 0914 同等品）



扉参考図



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

図面名称

詳細図

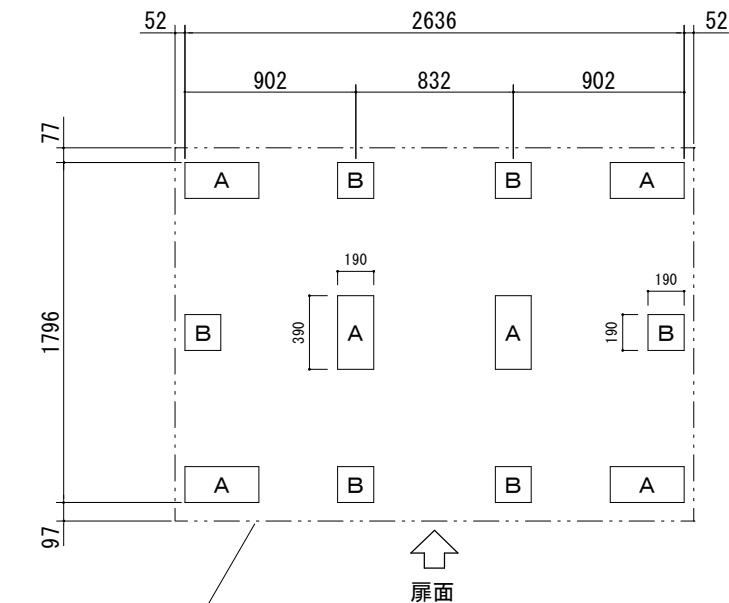
縮尺

1:2, 1:30  
1:3, 1:40

基礎図

S=1/40

機種名 FS-2618S・H



※a, b, cは屋根の出幅です。  
(a=52, b=97, c=77)

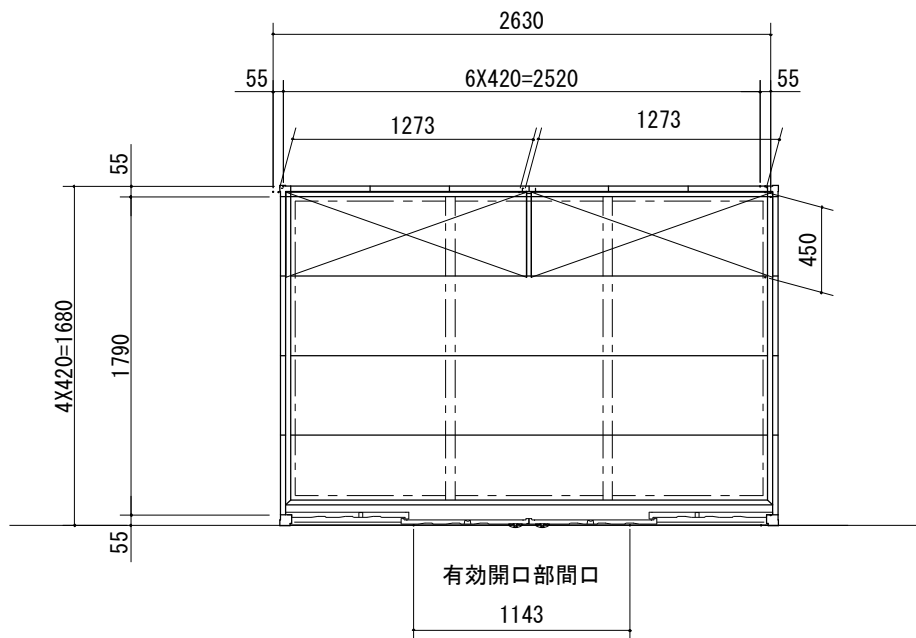
基礎図 S=1/40

外形図

S=1/40

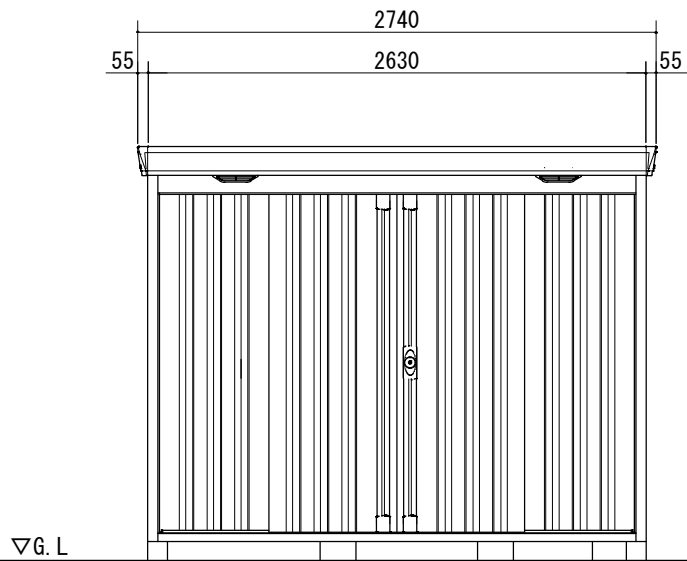
機種名 FS-2618S

○有効開口寸法 : 1143x1770 (mm)  
○床面積 : 4.7㎡ (1.43坪)



平面図 S=1/40

| 基礎詳細  | アンカー部詳細                        |
|---|--------------------------------|
|   | 地盤がコンクリートの場合                   |
| <p>A 150x190x390<br/>B 150x190x190</p> <p>▽G. L</p> | <p>オールアンカーM10</p> <p>▽G. L</p> |

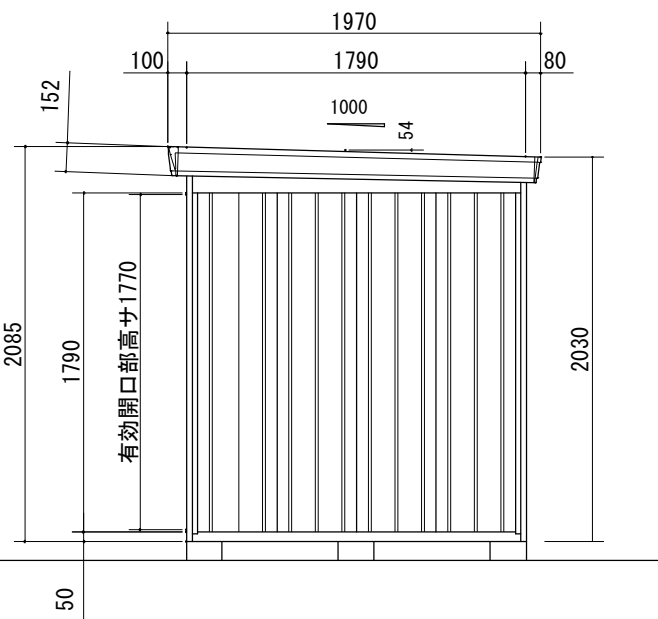


正面図 S=1/40

| 品番 | 部 品 名        | 材料 (材質)     | 板厚 (mm)    |
|----|--------------|-------------|------------|
| 1  | 土台取付板        | SGMH400 K27 | 2.3        |
| 2  | 土台           | SGC400 F12  | 1.2        |
| 3  | 根太           | SGCC F12    | 1.2        |
| 4  | 柱            | SGC400 F12  | 1.2        |
| 5  | 床パネル         | SGCC F12    | 1.0        |
| 6  | 鴨居           | SZAC400 Y10 | 1.0        |
| 7  | 桁後           | SZAC400 Y10 | 1.0        |
| 8  | 妻板左右         | SZAC400 Y10 | 0.7        |
| 9  | 鼻隠シ前後        | SZACC Y10   | 0.7        |
| 10 | 屋根パネル        | SZAC400 Y10 | 0.5        |
| 11 | 母屋中 (2630mm) | 一般型         | SGC400 F12 |
|    |              | 多雪型         | SGH400 F12 |
|    |              | 豪雪型         | SGH400 F12 |
| 12 | 壁パネル         | SGC400 F12  | 0.6 (0.7)  |
| 13 | 正面パネル        | SGC400 F12  | 0.7        |
| 14 | 扉            | SGCC F12    | 0.8        |
| 15 | 棚板           | SECC E8     | 0.6        |
| 16 | アンカープレート     | SGHC F12    | 2.3        |

SGMH400 : 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)  
SGC400, SGCC, SGH400, SGHC : 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)  
SZAC400, SZACC : 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)  
SECC : 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)

・ 〈 〉 内はH高さを示す。



側面図 S=1/40



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

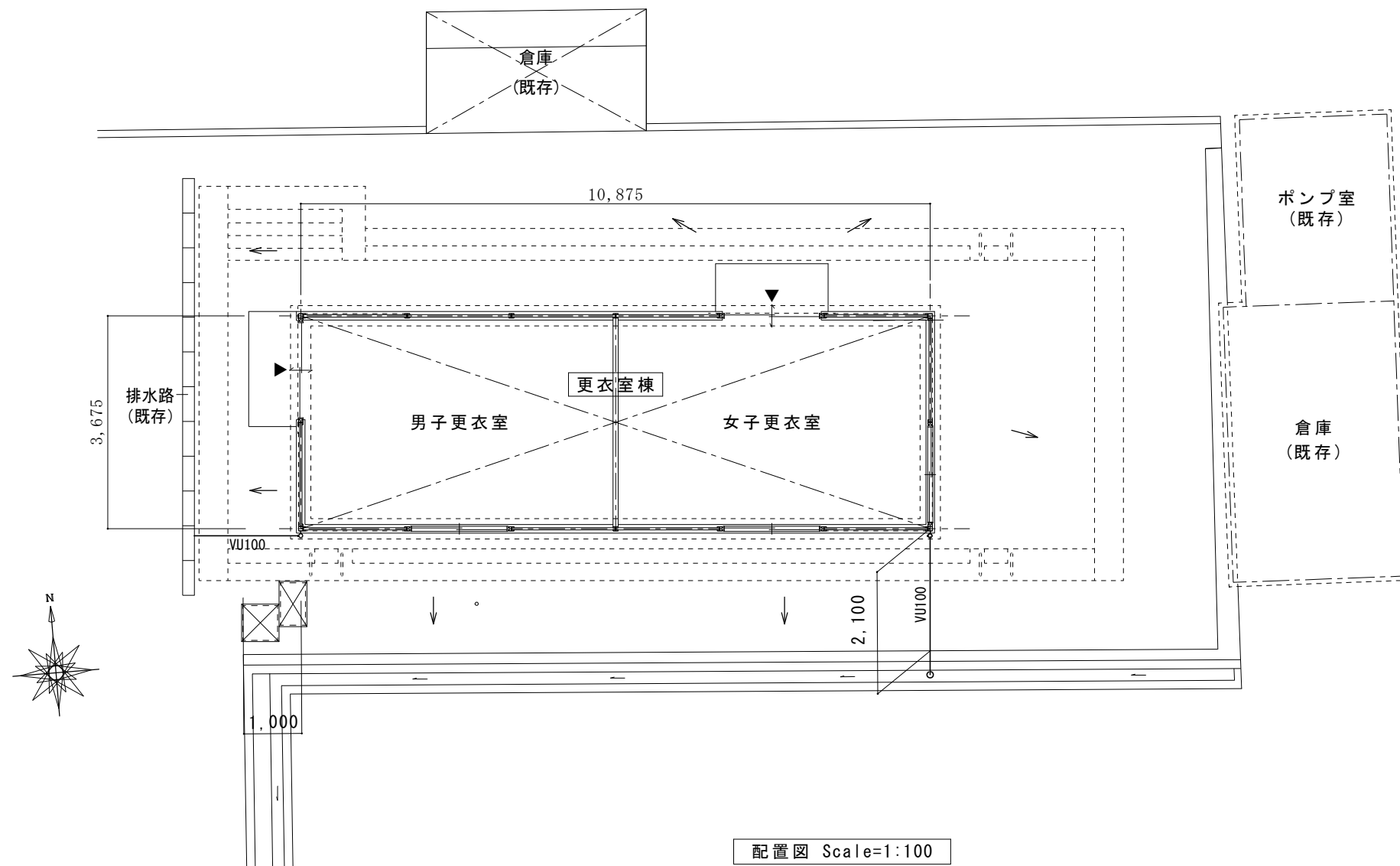
図面名称

倉庫 詳細図

縮  
尺

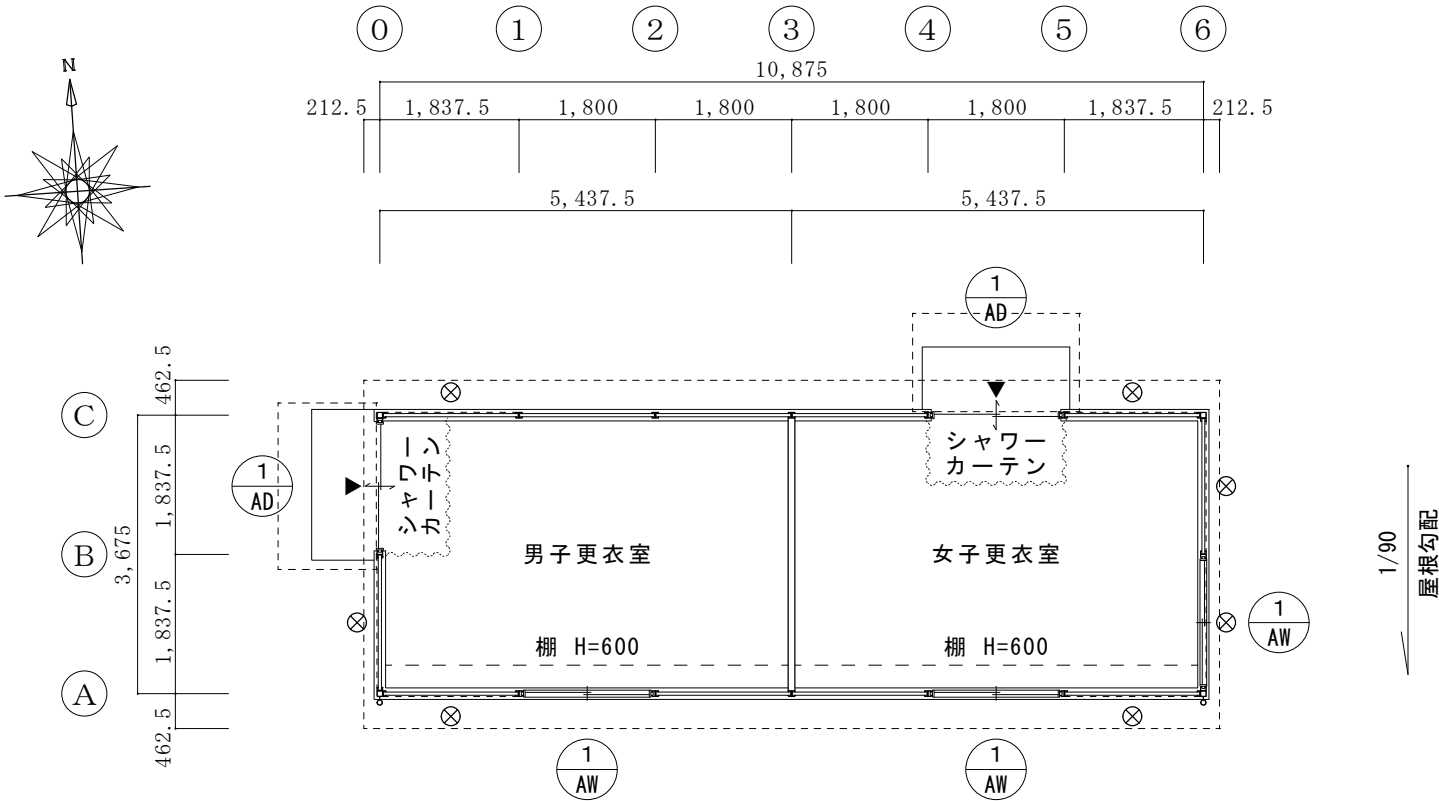
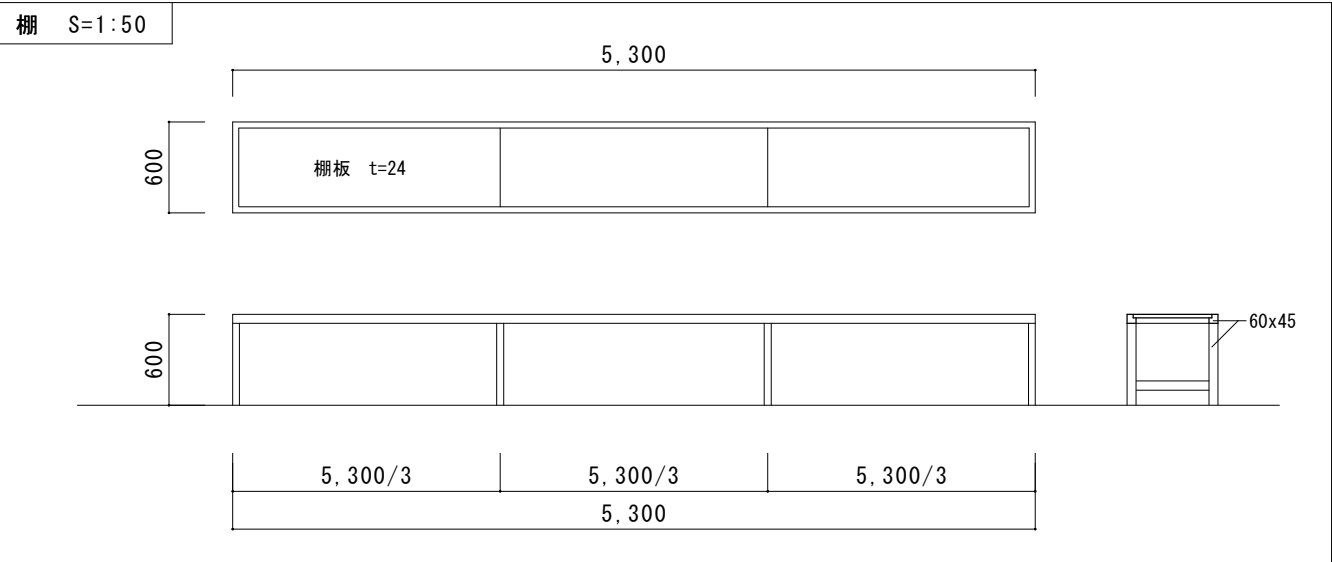
1:40

| 外 部 仕 上 表 |  |             |                        |   |               |     |
|-----------|--|-------------|------------------------|---|---------------|-----|
| 基 礎       | コンクリート打ち放し   | 倉 庫         | 什ハ°物置FS-2618S 一般型 同等以上 |   |               |     |
| 外 壁       | 金属サント°イチハ°ネル 外側・内側：ガ°ルハ°リウム鋼板 t=0.35 内部：フェノールフォーム t=40mm |             |                        |   |               |     |
| 屋 根       | ガ°ルハ°リウム鋼板折板葺 88型重ね式 t=0.5 H=88 1勾配=1/90 裏貼り（ペフ貼り t=4）   |             |                        |   |               |     |
| 軒 裏       | 屋根材 表し   |             |                        |   |               |     |
| 雨 樋       | 軒樋：塩ビ°製角130  堅樋：塩ビ°製 VU75φ                               |             |                        |   |               |     |
| 鼻 隠 し     | カウ°ガ°ルハ°リウム鋼板 t=0.5 H=300                                |             |                        |   |               |     |
|           |  |             |                        |   |               |     |
| 内 部 仕 上 表 |  |             |                        |   |               |     |
|           | 室 名  | 床           | 巾 木                    | 壁   | 天 井           | 備 考 |
|           | 男子更衣室  | コンクリート金ゴテ仕上 | コンクリート打ち放し             | ガ°ルハ°リウム鋼板 t=0.35（金属サント°イチハ°ネル）           | 屋根あらわし        | 棚   |
|           |  |             |                        | 間仕切部：化粧ケイサンカルシウム板 t=6（下地：フ°ラスターホ°°ト° t=9） | 裏貼り（ペフ貼り t=4） |     |
|           | 女子更衣室  | コンクリート金ゴテ仕上 | コンクリート打ち放し             | ガ°ルハ°リウム鋼板 t=0.35（金属サント°イチハ°ネル）           | 屋根あらわし        | 棚   |
|           |  |             |                        | 間仕切部：化粧ケイサンカルシウム板 t=6（下地：フ°ラスターホ°°ト° t=9） | 裏貼り（ペフ貼り t=4） |     |
|           |  |             |                        |   |               |     |



建具リスト S=1:50

| 建具番号   | 1<br>AD<br>引違い戸          | 1<br>AW<br>引違い窓 |
|--------|--------------------------|-----------------|
| 姿 図    |                          |                 |
| 材料・仕上  | シルバー                     | シルバー            |
| ガラス・見込 | 上:強化型板 t 4<br>下:アルミ樹脂複合板 | 強化型板 t 4        |
| 付属金物   | 付属金物一式                   | 付属金物一式          |
| 備 考    |                          |                 |

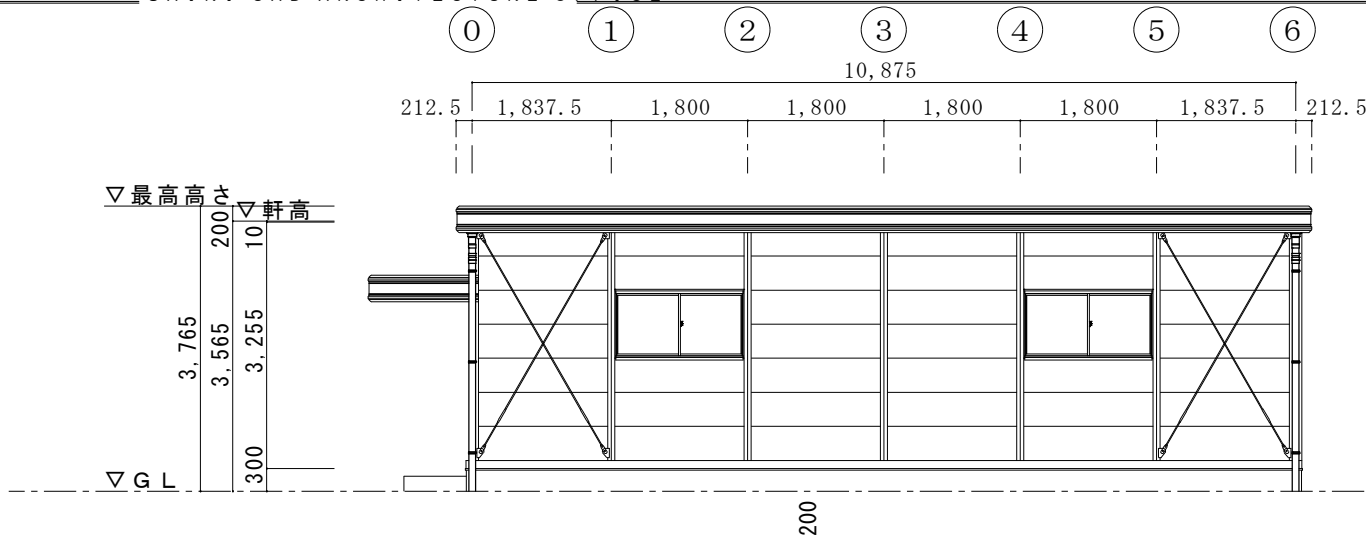


平面図 S=1:100

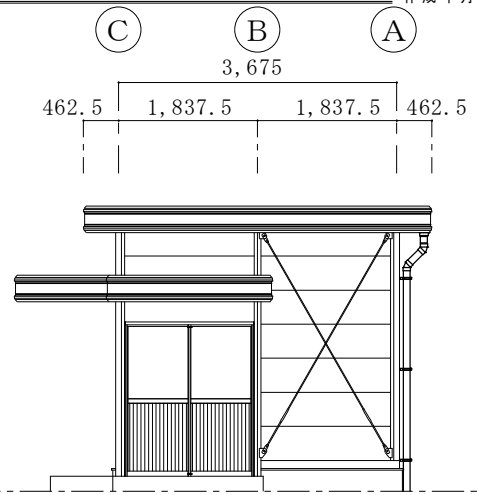
⊗ — 壁プレス位置を示す。  
(外プレス)

面積表

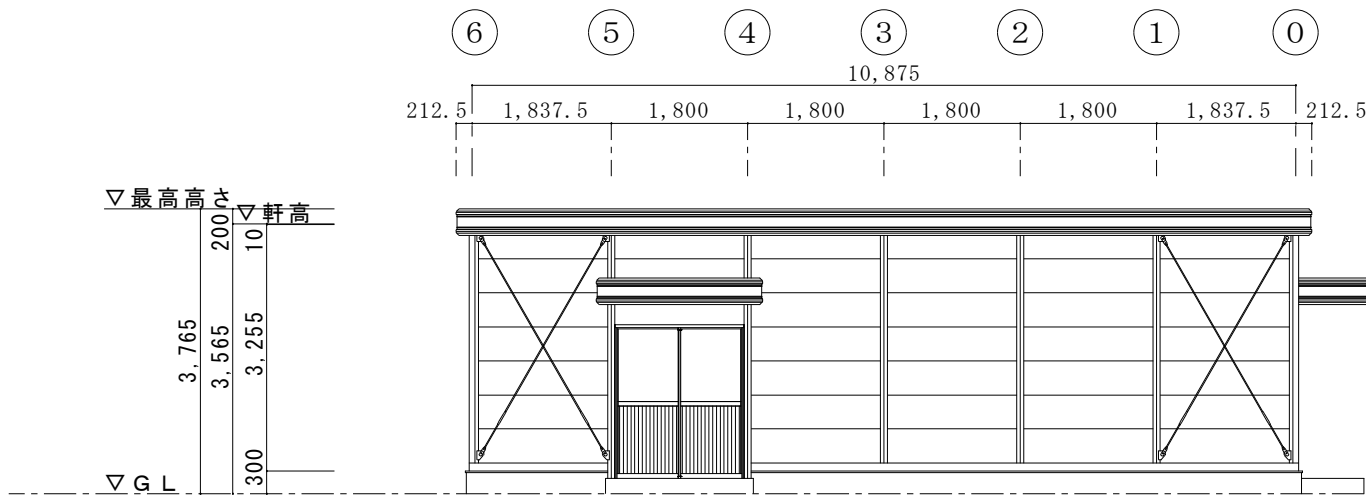
|      |                            |
|------|----------------------------|
| 床面積  | 10.875 x 3.675 = 39.965625 |
|      | 40.0 (㎡)                   |
| 建築面積 | 40.0 (㎡)                   |



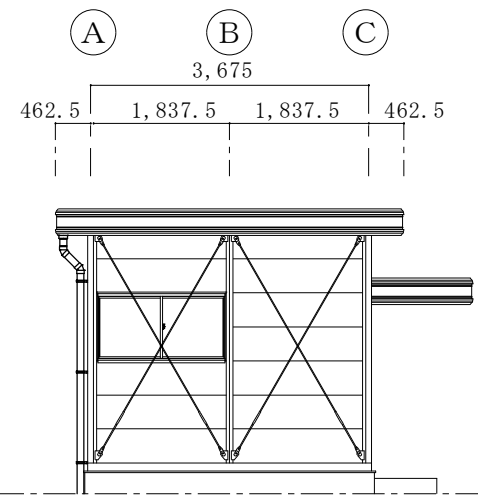
A 通立面図 S=1:100



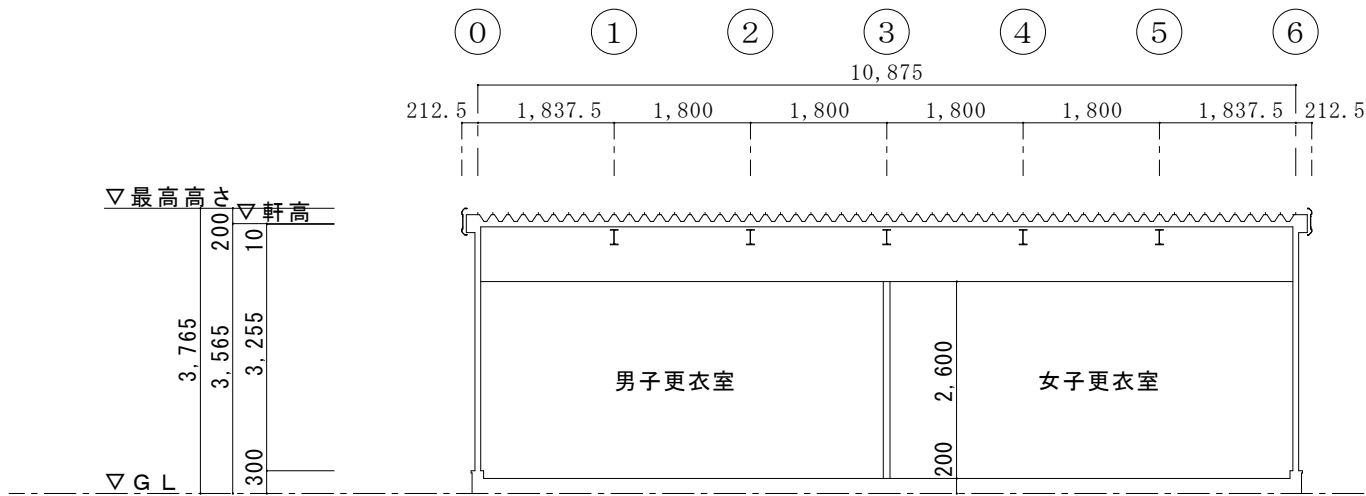
O 通立面図 S=1:100



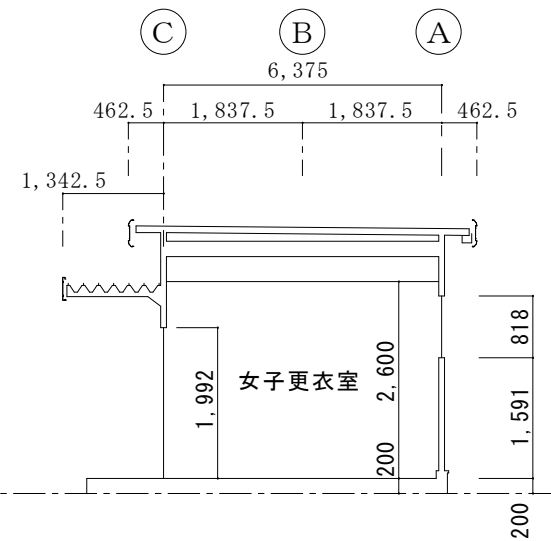
C 通立面図 S=1:100



6 通立面図 S=1:100



Y - Y 断面図 S=1:100



X - X 断面図 S=1:100



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

三次小学校プール改修工事

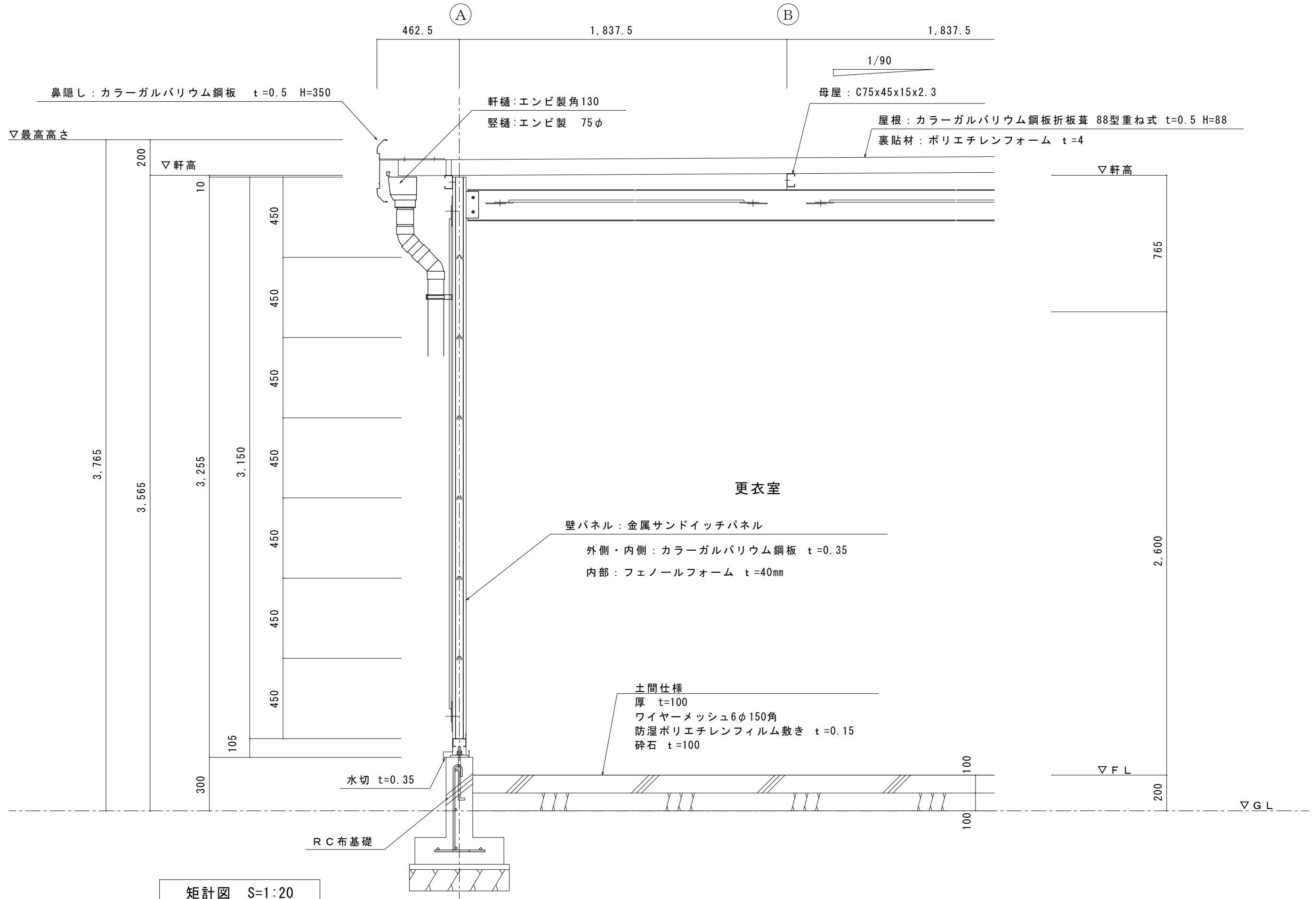
図面名称

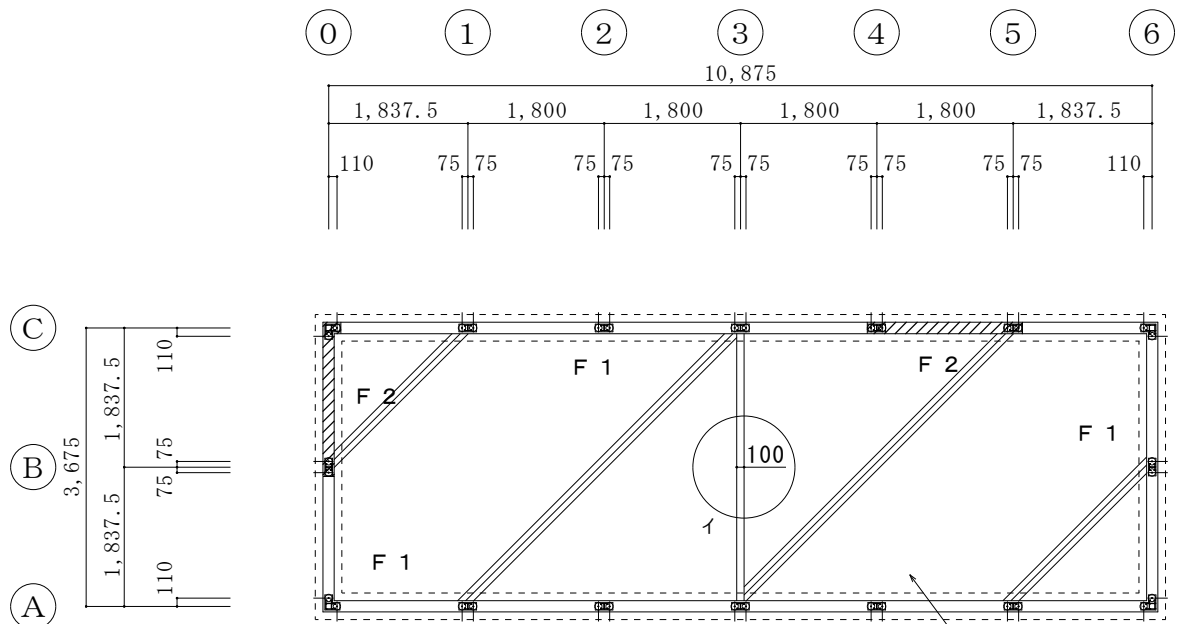
(更衣室棟)  
立面図・断面図

縮  
尺

1:100

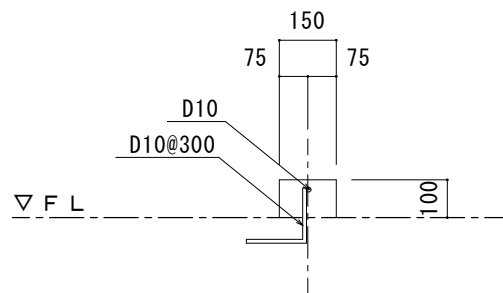




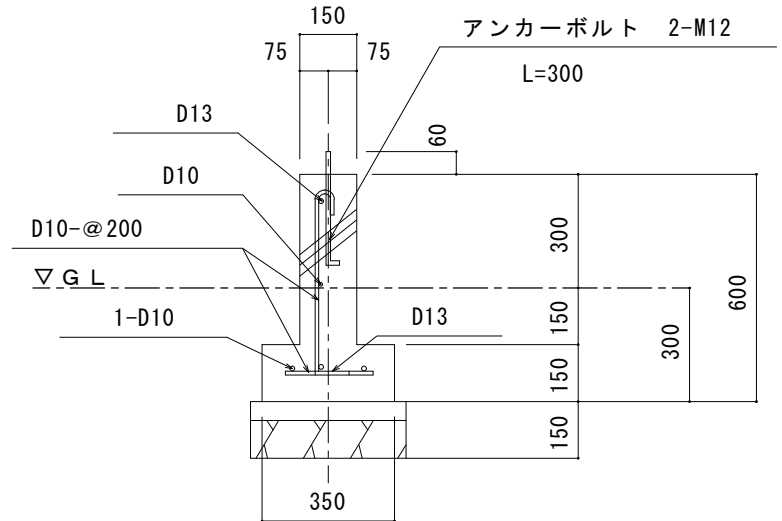


基礎伏図 S=1:100

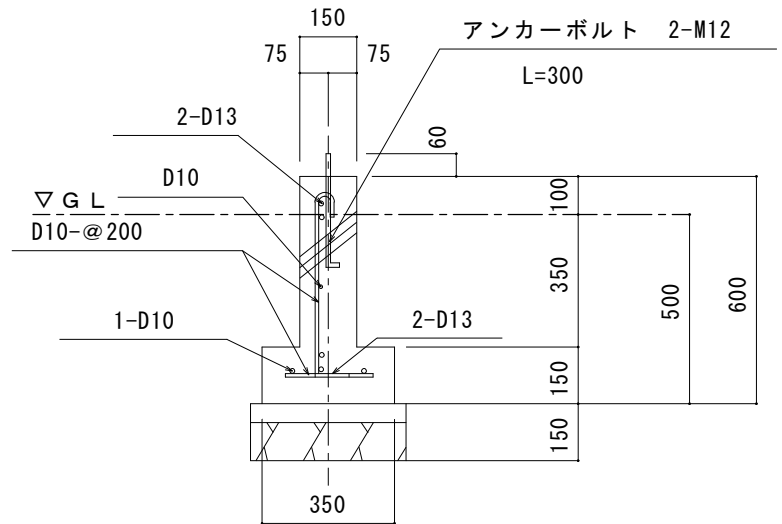
—基礎落し部分を示す。



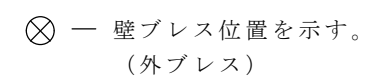
イ部礎断面図 S=1:20

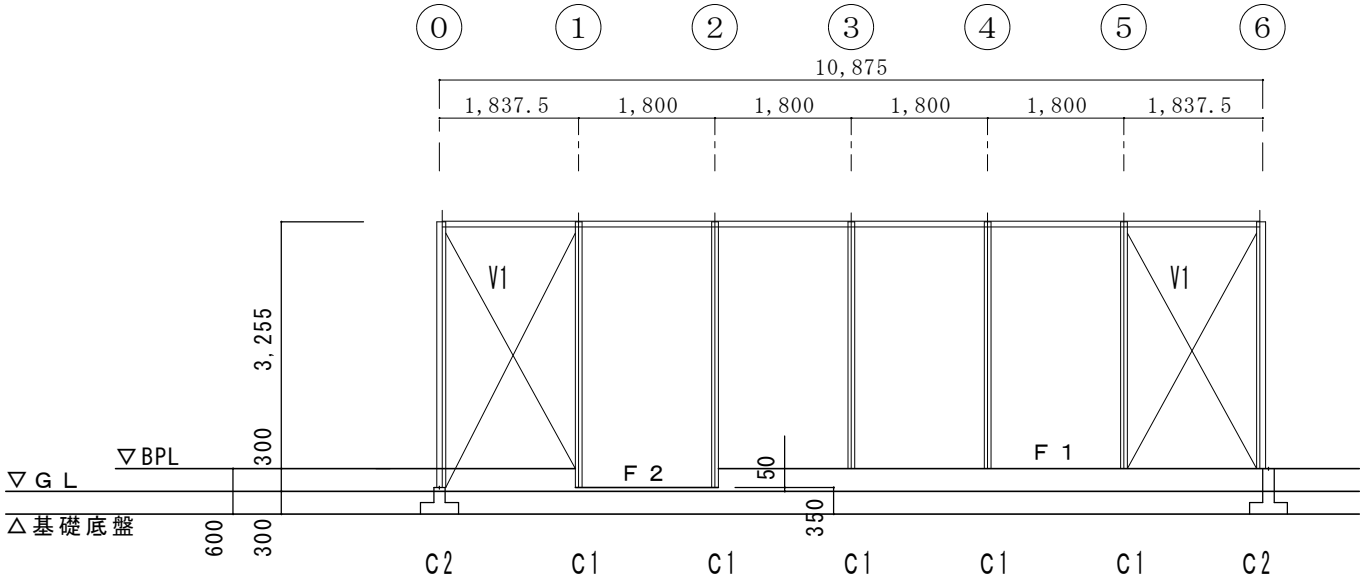


F 1 基礎断面図 S=1:20

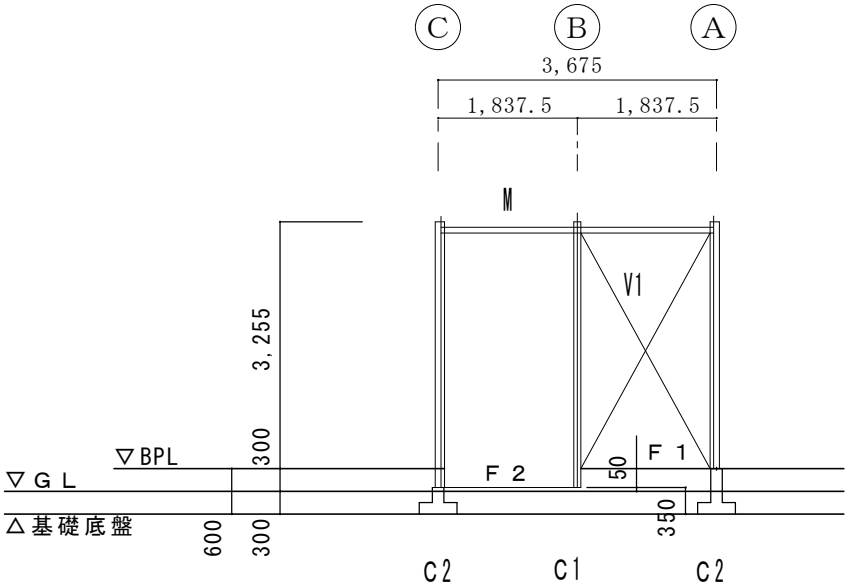


F 2 基礎断面図 S=1:20

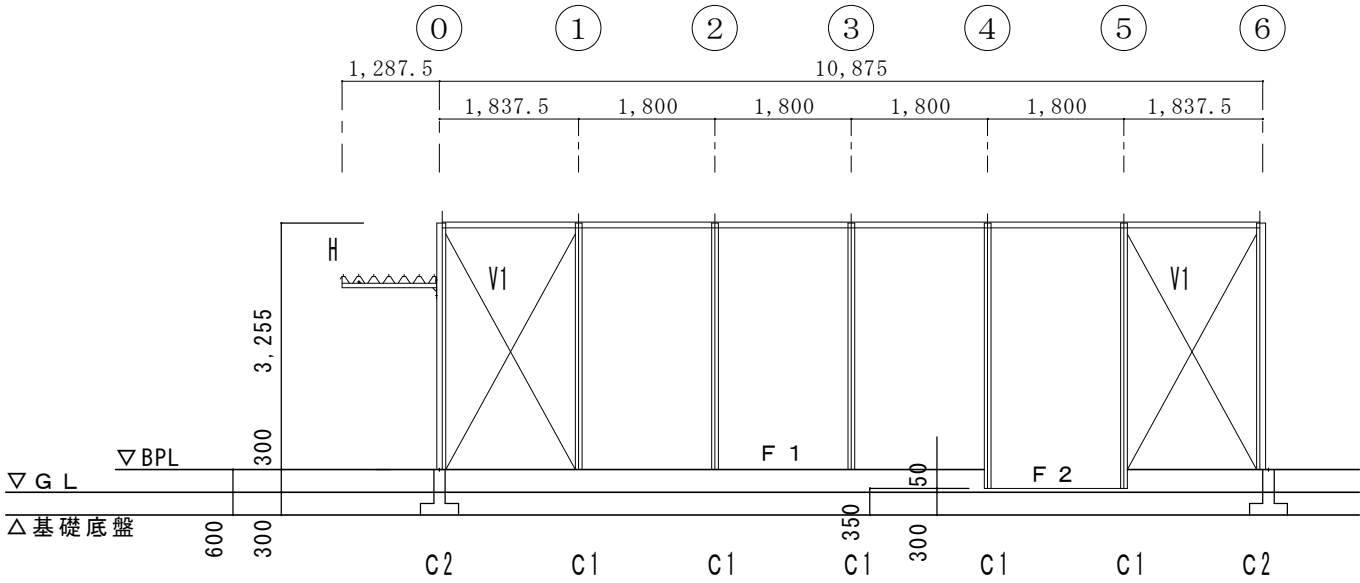




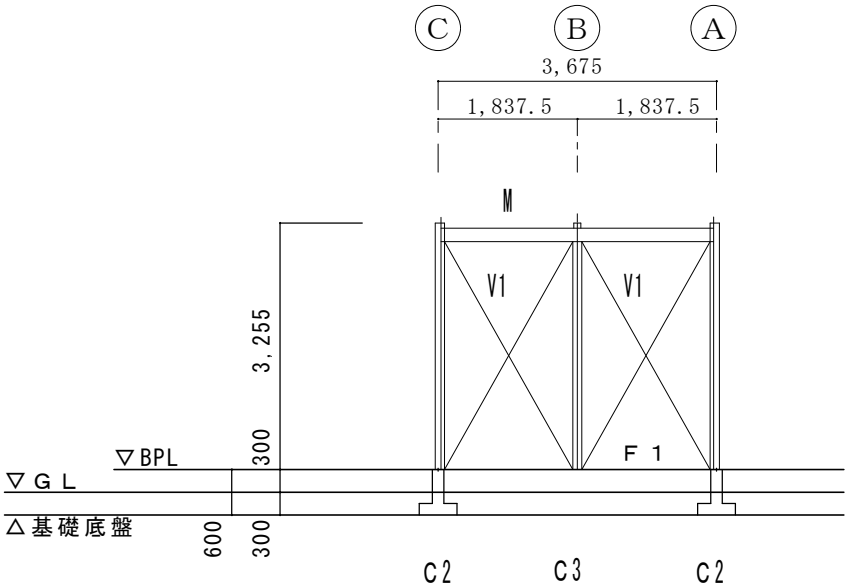
A 軸組図 S=1:100



O 軸組図 S=1:100



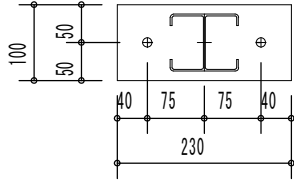
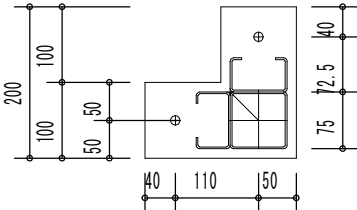





C 軸組図 S=1:100



6 軸組図 S=1:100



部材リスト及び構造材料一覧表

| 記 号   | C 1   | C 2   |   |  |   |   |
|-------|---|---|---|--|---|---|
| 断 面   |    |     |   |  |   |   |
| 部 材   | RH75x90x15x2.3  | 2C75x45x15x2.3  |   |  |   |   |
|       |   | □P75x75x2.3   |   |  |   |   |
| 鋼 種   | SWH400L   | SSC400 STKR400  |   |  |   |   |
| プレート  | BPL-12  | BPL-12  |   |  |   |   |
| ボ ル ト | BOLT-2-M12  | BOLT-2-M12  |   |  |   |   |
| 規 格   | JIS G3353   | JIS G3350 JIS G3466   |   |  |   |   |
| 記 号   | R G   | M   | H   |  | 小屋ブレス   | V1-1F桁ブレス   |
| 断 面   |  |  |  |  |  |  |
| 部 材   | LH175x90x3.2x4.5  | C75x45x15x2.3   | □P60x60x3.2   |  | 丸棒M10   | 丸棒M12   |
|       |   |   | L30x30x3  |  |   |   |
| 鋼 種   | SWH400  | SSC400  | STKR400 SS400   |  | SS400   | SNR400B   |
| プレート  | GPL-4.5   | GPL-3.2   | GPL-6.0   |  | GPL-4.5   | GPL-4.5   |
| ボ ル ト | BOLT-2-M12  | BOLT-1-M12  | BOLT-4-M12  |  | BOLT-1-M12  | BOLT-1-M12  |
| 規 格   | JIS G3353   | JIS G3350   | JIS G3466 JIS G3101   |  | JIS G3101   | JIS G3138   |



特記事項

【コンクリートの材料】

1. 骨材、水及び混和材料は、鉄筋をさびさせ、又はコンクリートの凝結及び硬化を妨げるような酸、塩、有機物又は泥土を含まないこと。
2. 骨材は、鉄筋相互間及び鉄筋とせき板との間を容易に通る大きさであること。
3. 骨材は、適切な粒度及び粒形のもので、かつ、当該コンクリートに必要な強度、耐久性及び耐火性が得られるものであること。

《施工方法等計画書》

【コンクリート強度】

コンクリートの強度はコンクリートの圧縮強度試験に用いる供試体で現場水中養生又はこれに類する養生を行ったものについて強度試験を行った場合に、材齢が28日の供試体の圧縮強度の平均値が設計基準強度の数値以上であること。

コンクリートの強度を求める強度試験は、日本工業規格A1108（コンクリートの圧縮強度試験方法）～1999による。

【コンクリートの養生】

コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにし、かつ、乾燥、震動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生しなければならない。ただし、コンクリートの凝結及び硬化を促進するための特別の措置を講ずる場合においては、この限りでない。

【型枠の除去】

基礎のせき板は普通ポルトランドセメントの場合、存置期間中の平均気温が摂氏15度以上で3日以上、摂氏15度未満5度以上で5日以上、摂氏5度未満で8日以上経過するまで又はコンクリートの圧縮強度が5N/m㎡以上になるまで取り外さないこと。

長期設計地耐力 fe=30kN/㎡

支持地盤の種別－砂質土

※ 使用材料

コンクリート－FC=21N/m㎡

鉄筋－SD295A

アンカーボルト－SS400

L=300, Wナット

使用材料

鋼材－SS400, SSC400, SWH400L, STKR400

ボルト－中ボルト（スプリングワッシャー）

【コンクリートの水】

JISA5308（レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水）

【混和材料の種類】

混和剤

JISA6204（コンクリート用科学混和剤）

AE剤

混和材

JISA6201（コンクリート用フライアッシュ）によるフライアッシュによる。

【骨材】

砂利及び砂

JISA5308（レディーミクストコンクリート用骨材）

碎石及び砕砂

JISA5005（コンクリート用碎石及び砕砂）

【コンクリート調合】

単位水量の最大値は1850N/m<sup>3</sup>とする。

単位セメント量の最小値は2700N/m<sup>3</sup>とする。

水セメン比の最大値は65%とする。

AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤を用いるコンクリートの所要空気量の目標値は、4.5%とする。

コンクリートに含まれる塩化物の含有量は塩化物イオン量（Cl<sup>-</sup>）で3N/m<sup>3</sup>以下とする。

コンクリートは、アルカリ骨材反応を生じる恐れのないものとする。

鉄筋の継手：40d以上

鉄筋の定着：35d以上

鉄筋のかぶり厚さ

立上り：40mm以上

ベース：60mm以上

錆止め：JISK-5621

ボルト緩み止め：スプリングワッシャー

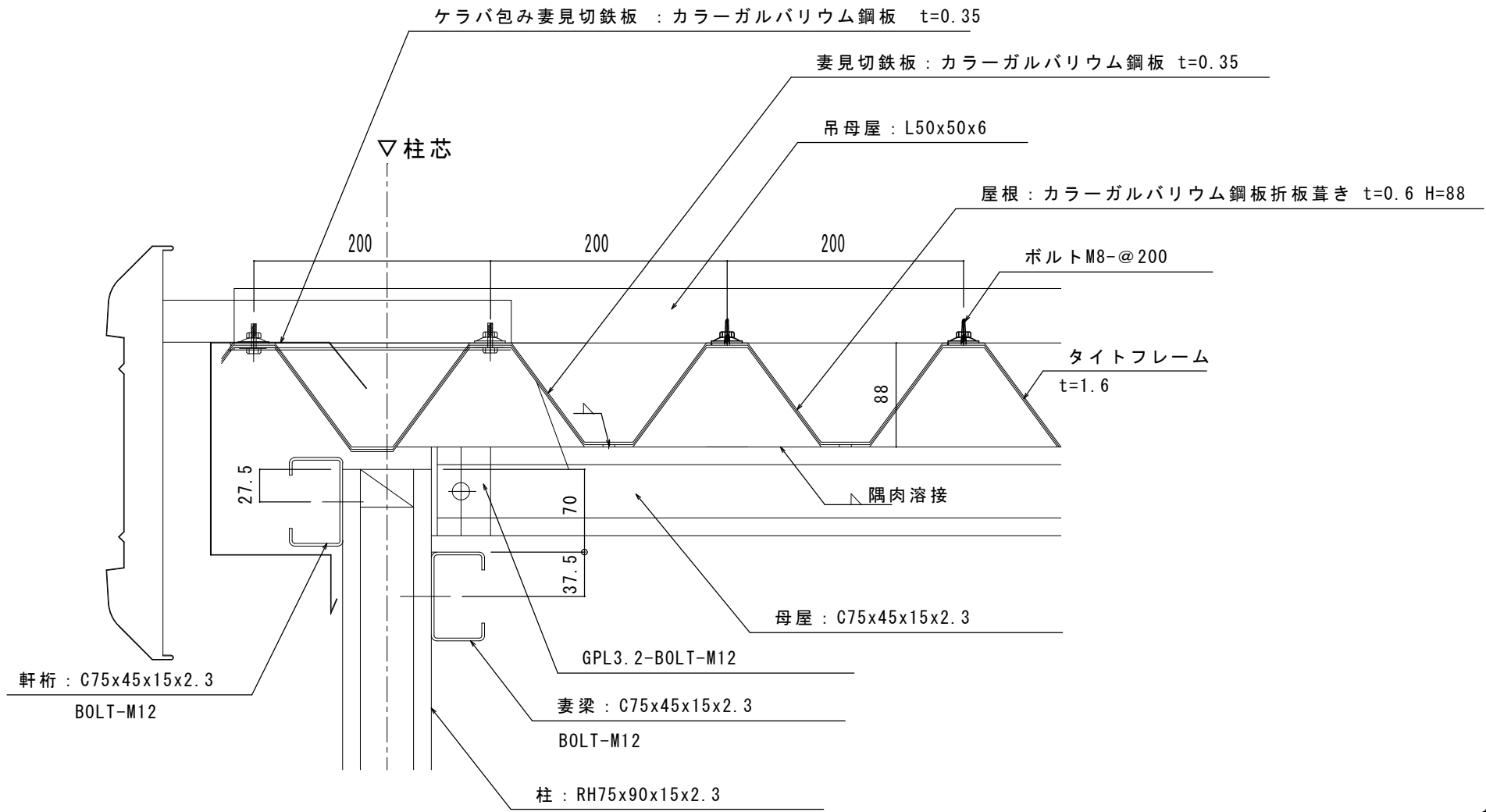
ボルト縁端距離：28mm以上

ボルト相互間の中心距離：径の2.5倍以上

ボルト孔の径：ボルトの径＋1mm以下

施行令第3章第5節の規定を満足すること

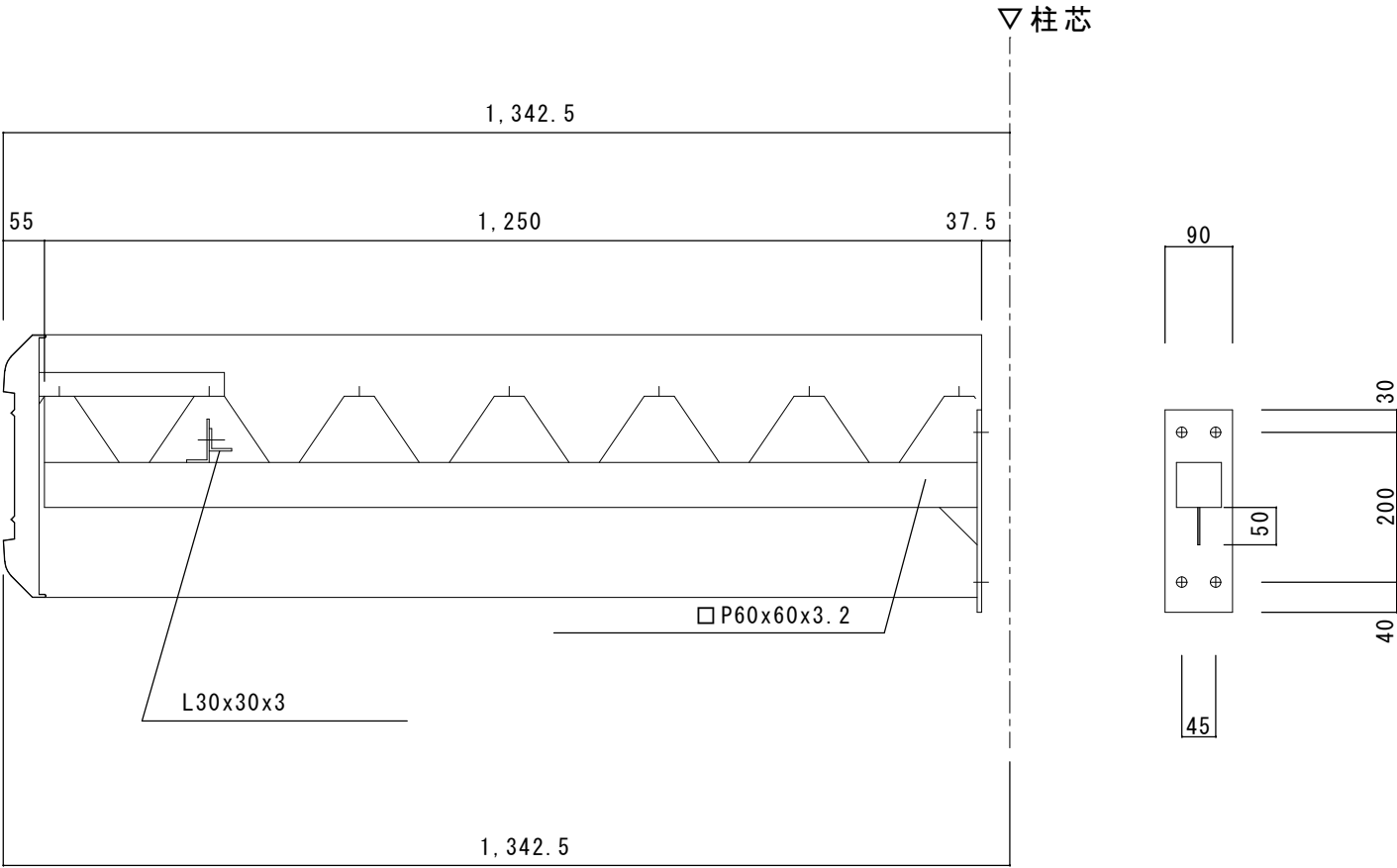
告示第1456号の規定を満足すること



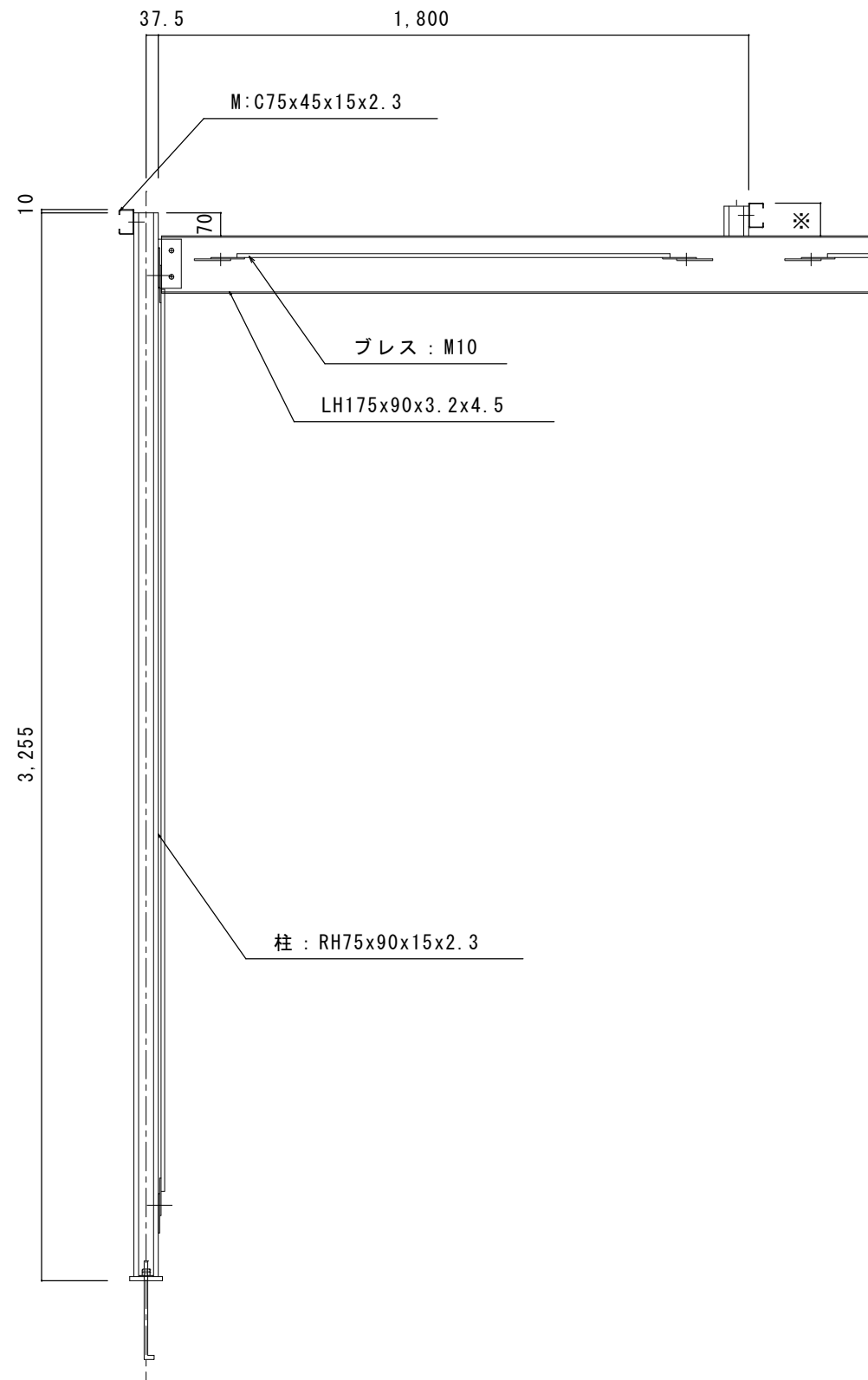
屋根材取り付け詳細図 S=1:5

圧縮材の有効細長比

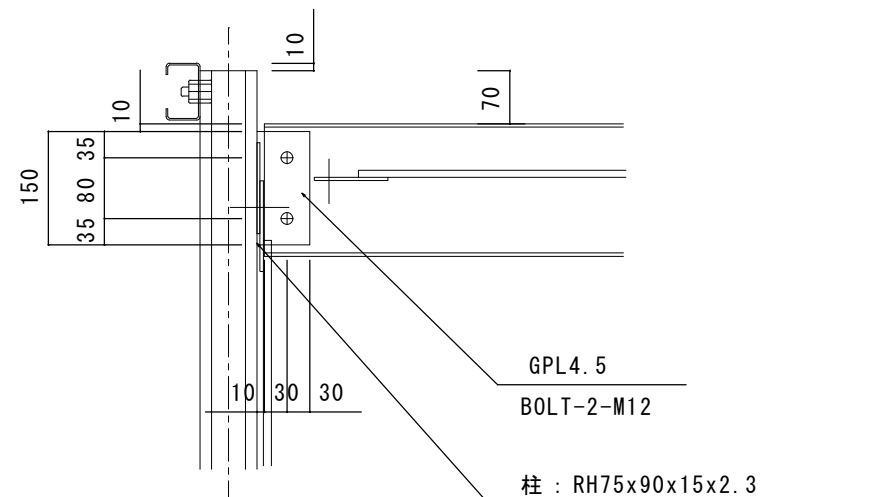
|    |                                       |       |    |
|----|---------------------------------------|-------|----|
| C1 | $\lambda = \frac{310}{2.7} = 114.81$  | < 200 | OK |
| C2 | $\lambda = \frac{310}{2.95} = 105.08$ | < 200 | OK |



底詳細図 S=1:10

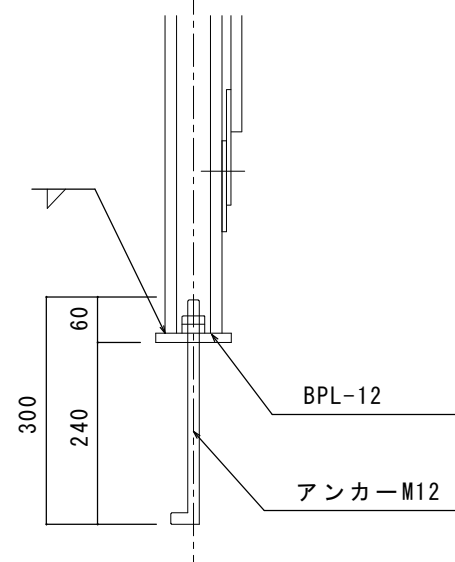


鉄骨図 S=1:20

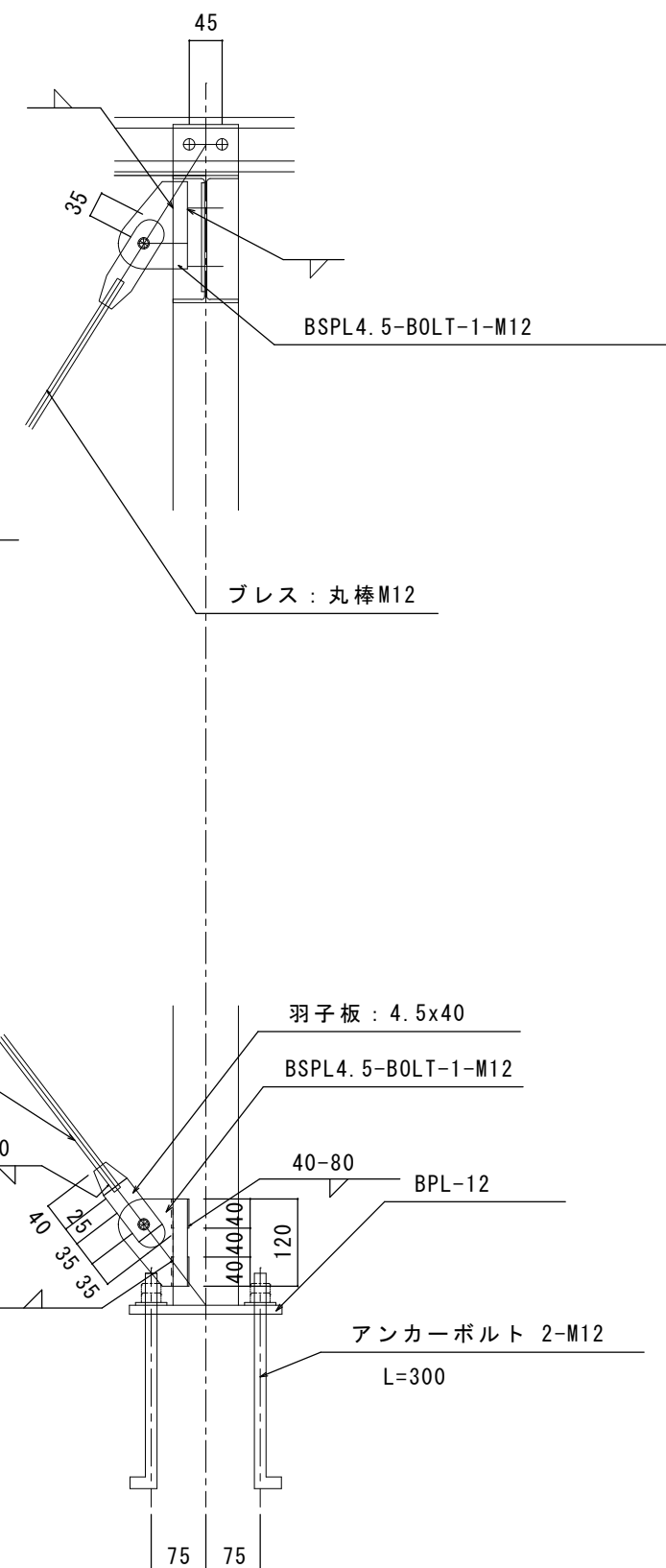


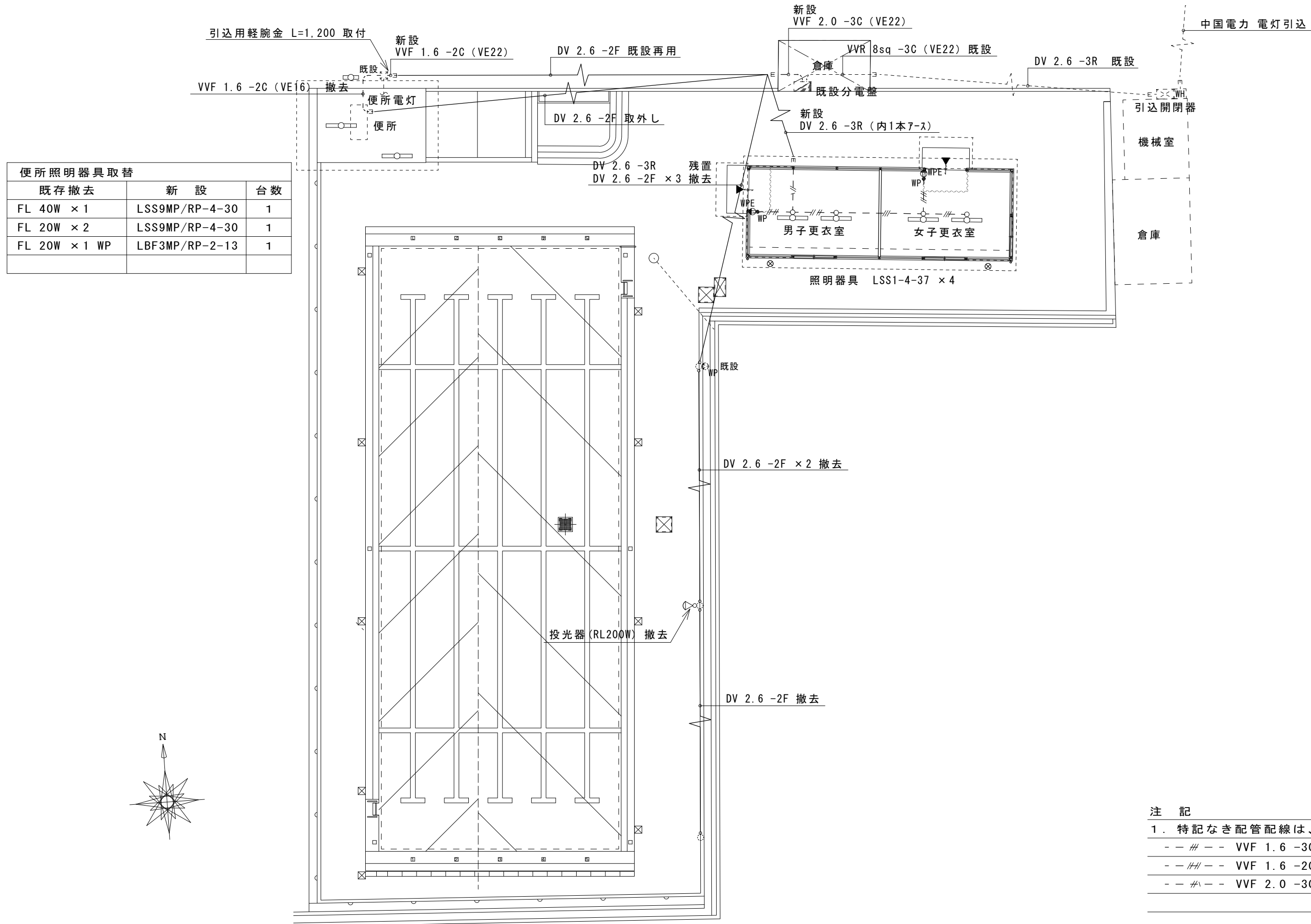
桁側柱頭詳細図 S=1:10

断面図



桁妻側土台詳細図 S=1:10





| 便所照明器具取替      |                |    |
|---------------|----------------|----|
| 既存撤去          | 新 設            | 台数 |
| FL 40W × 1    | LSS9MP/RP-4-30 | 1  |
| FL 20W × 2    | LSS9MP/RP-4-30 | 1  |
| FL 20W × 1 WP | LBF3MP/RP-2-13 | 1  |
|               |                |    |

注 記

1. 特記なき配管配線は、下記とする。
- |            |                 |        |
|------------|-----------------|--------|
| - - # - -  | VVF 1.6 -3C     | (VE22) |
| - - #/ - - | VVF 1.6 -2C × 2 | (VE22) |
| - - #\ - - | VVF 2.0 -3C     | (VE22) |



